

Sitecore CMS 6.6

インストール ガイド

管理者およびデベロッパー用インストール ガイド管理者およびデベロッパー用インストール ガイド



目次

第1章 イントロダクション
1.1 Sitecore CMS 6 のインストールの準備7
第2章 Sitecore CMS 6 の要件
2.1 Sitecore ホスト環境の要件9
2.1.1 IISの要件9
2.1.2 オペレーティング システムの要件9
2.1.3 .NET Framework の要件10
2.1.4 データベースの要件11
2.1.5 単一の Sitecore が動作するためのサーバーのハードウェアの要件のまたのでの 11
2.2 Sitecore クライアントの要件12
2.2.1 ソフトウェアの要件12
2.2.2 ハードウェアの要件
第3章 Sitecore のインストール プログラムの使用13
3.1 Windows Vista/Windows 7 でのインストール前の手順14
3.1.1 UAC (ユーザーアカウント制御) 設定14
3.2 インストール プロセス16
3.2.1 完全 モード
3.2.2 [データベースのみ] のインストール モード26
3.2.3 [クライアントのみ] のインストール モード32
3.3 Sitecore のアンインストール41
3.4 トラブルシューティング
第4章 .ZIP ファイルからのインストール
4.1 インストール プロセスの概要44
4.2 フォルダーおよびレジストリのアクセス許可の設定46
4.2.1 匿名要求を実行するためのファイル システムのアクセス許可
4.2.2 ASP.NET の要求を実行するためのファイル システムのアクセス許可
4.2.3 システム フォルダー用のファイル システムのアクセス許可
4.2.4 SQL Server ファイル用のファイル システムのアクセス許可48
4.2.5 Windows のレジストリへのアクセス許可48
ユーザー グループへのアカウントの追加
4.3 IIS の設定
4.3.1 IIS 7
アプリケーション プールの作成

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



Web サイトの作成	52
匿名ユーザーのアクセスの制限	54
4.3.2 IIS 6	56
Web サイトの作成5	59
匿名ユーザーのアクセスの制限	50
4.3.3 IIS 5	53
ホーム ディレクトリの設定	53
匿名ユーザーのアクセスの制限	53
4.4 Microsoft SQL Server の設定	57
4.4.1 SQLServer2008 に Sitecore CMS データベースのデータベース アカウントを作成	57
4.4.2 保存したプロシージャへの実行権限の許可	70
4.5 Oracle データベースのストレージの設定	12
4.5.1 Oracle のストレージの設定	12
データベース サーバーの準備	12
Web サイト サーバーを設定する手順	73
4.6 Sitecore のアンインストール (ZIP からインストールした場合)	75
第5章 制限および固有の要件	76
5.1 OS に固有の要件	77
5.1.1 Windows XP	77
5.2 ワーカー プロセスの最大数	78
5.3 その他	79
5.3.1 最新アップデートのインストール	79
5.3.2 UNC 共有はサポートされない	79
5.3.3 Sitecore は仮想ディレクトリから動作できない	79
5.3.4 .NET Framework の更新前に IIS をインストールする	79
第6章 インストール後の手順	30
6.1 ASP.NET 4.0 で Sitecore を実行するために必要な Web.config の変更	32
6.2 コンテンツの有効期限	33
6.3 Windows Authentication for Sitecore	35
6.4 Microsoft SQL Server データベースのプロパティの設定	36
6.5 検索インデックスとリンク データベースの再構築8	38
6.6 キャッシュ設定	39
第7章 付録) 0
7.1 サーバーの設定	<i>)</i> 1
7.1.1 フォルダーのセキュリティ設定の更新	<i>)</i> 1
[セキュリティ] タブの表示	<i>)</i> 1
アカウントの表示) 2

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



7.1.	2 Oracle インスタンスへの接続の追加	93
7.2	IIS	98
7.2.	1 IIS へのアクセス	98
7.3	Visual Studio での Web プロジェクトの作成	99



第1章

イントロダクション

このマニュアルでは、Sitecore CMS のインストールについて説明します。

デベロッパー ワークステーションやテスト環境を含む小規模の実装の場合、Sitecore CMS とデータベース サーバーを 1 台のコンピューターにインストールできます。大規模の実装の場合、データベース サーバーは通常、アプリケーション サーバーとは別にします。ビジネス ユーザー向けのコンテンツ オーサリング 環境も、インターネット ユーザーがアクセスするコンテンツ デリバリ環境と別にすることが多々あります。

Sitecore は 3 つの論理コンポーネントに分割できます。これは、新しい Sitecore インスタンスのイン ストールに setup .exe ファイルと .zip ファイルのいずれを使用するか、および使用するデータベース テ クノロジの種類には無関係です。

この3つの論理コンポーネントは次のとおりです。

- IIS ドキュメントのルート (「Web サイト」)。
- ログおよびデータ用のサポート ファイル システム。
- サポートするリレーショナルデータベース。データベースは多くの場合、サポートするファイルシステムの下に保存されます。

設定は、web.config や /App_Config フォルダー内のファイルなどのファイルにより管理されます。

Sitecore のインストール中のセキュリティ強化の詳細については、『セキュリティ強化ガイド』を参照してください。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



Sitecore CMS は、次の 2 つの方法で配布できます。

- インストール プログラムの実行ファイル .exe ファイル。
- ファイル システム内にある Sitecore CMS ソリューションのアーカイブ済みコピーの形式 zip ファイル。

可能な限り、インストール プログラムを使用してください。インストール プログラムには、インストール プロ セスを支援するウィザードが含まれています。

インストール プログラムを使用すると、zip ファイルを構成するよりも、手動操作がかなり少なくなります。

使用している Sitecore CMS ソリューションのアーカイブを作成し、あるコンピューターから別のコンピュー ターに移動することができます。

このマニュアルには次の章があります。

- 第1章 イントロダクション
- 第2章 Sitecore CMS 6 の要件
- 第3章 Sitecore のインストール プログラムの使用
- 第4章 .ZIP ファイルからのインストール
- 第6章 インストール後の手順
- 第5章 制限および固有の要件
- 第7章-付録

サポートが必要な場合、またはこのマニュアルと製品との不整合を報告する場合は、<u>http://support.</u> <u>sitecore.net/helpdesk/</u> に連絡してください。



1.1 Sitecore CMS 6 のインストールの準備

選択したデータベース テクノロジ、サーバー管理者の好み、および実行する環境 (開発、テスト、コンテンツ オーサリング、 コンテンツ デリバリなど) に応じて、さまざまな方法で Sitecore をインストールできます。

Sitecore CMS のアーキテクチャを十分に理解し、インストール マニュアルを読んだ後に、基本的なインストール計画を決定する必要があります。

Sitecore CMS のインストールを試行する前に、次の項目を決定する必要があります。

- プロジェクト名とその頭字語 (例: ProjectName)。
- 頭字語/接頭辞 (例: PN)。
- インストール先となるファイル システムのルート (例: C:¥inetpub¥wwwroot¥ProjectName)。
- データベース テクノロジ SQL Server 2008、SQL Server 2008 R2、SQL Server 2012 または SQ L Express、または Oracle。
- データベースの場所 ローカル、またはリモート サーバー上。
- Sitecore CMS の適切なライセンス。
- ハードウェア。
- コンピューターやデータベースへの管理者のアクセス権限。
- Sitecore Developer Network (<u>http://sdn.sitecore.net</u>) へのアクセス 最寄りの営業オフィス、また はパートナー マネージャーに連絡してください。
- IIS の設定 ホスト ヘッダーなど。





Sitecore CMS 6 の要件

この章では、Sitecore CMS 6 のホスト コンピューターおよびクライアント コンピューターの前提条件、 ハードウェアおよびソフトウェアの要件について説明します。このマニュアルでは、用語 "サーバー" は Win dows OSWeb サーバーを指し、用語 "ホスト" は、サーバーまたはワークステーションにインストールし た Sitecore CMS を指します。

この章には次のセクションがあります。

- Sitecore ホスト環境の要件
- Sitecore クライアントの要件



2.1 Sitecore ホスト環境の要件

2.1.1 IISの要件

Sitecore CMS は、サポートされているオペレーティング システム上で動作する次の IIS バージョン上でホストできます。

- IIS 5.1
- IIS 6.0
- IIS 7.0
- IIS 7.5

Sitecore CMS は、他の ASP.NET Web サーバー (Visual Studio Cassini、IIS Express、Mono Web Serv er など) をサポートしません。

重要

Sitecore では、同じ Sitecore Web ルートを参照する複数の IIS Web サイト定義がサポートされず、また許可もされません。

2.1.2 オペレーティング システムの要件

Sitecore CMS は、次の Microsoft オペレーティング システムでホストできます。

- Windows XP (32 ビットのみ)
- Windows Server 2003 (32/64 ビット)
- Windows Server 2008 (32/64 ビット)
- Windows Server 2008 R2 (64 ビット)
- Windows Vista (32/64 ビット)
- Windows 7 (32/64 ビット)

重要

Microsoft Update のサイト(http://windowsupdate.microsoft.com) で、お使いの Sitecore CMS のホストおよ びクライアントのコンピューターのすべてに、該当するサービス パックとセキュリティ アップデートをすべてインストールしてください。

Windows XP サービス パック 2 (またはそれより新しいアップデート) を、Sitecore をホストするそれぞれの Microsoft Windows XP コンピューター、または Internet Explorer を使用して Sitecore にアクセスするそれぞれの Microsoft Windows XP コンピューターにインストールする必要があります。Microsoft Windows 2003 の場合、サービス パック 2 (またはそれより新しいアップデート) を強くお勧めします。サービス パック 1 は最低限の要件です。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



Sitecore CMS は、Windows Vista オペレーティング システムの次のエディションをサポートしています。

- Business
- Ultimate
- Enterprise

Home Basic などの Vista の他のエディションには、IIS サーバーの制限があります。Windows Vista のさまざまなエディションにおける IIS の設定の詳細については、次の記事を参照してください。

- Why you need Vista Business / Ultimate for IIS 7? (IIS 7 に対応する Vista Business/Ultimate の必要性)
- IIS 7.0 Features and Vista Editions (IIS 7.0 機能と Vista のエディション)

Sitecore CMS は、Windows 7 オペレーティング システムの次のエディションをサポートしています。

- Ultimate
- Professional
- Enterprise

IIS 7.5 をインストールした場合、 **Windows 7 Home Premium** で Sitecore を実行できます。 Windows 7 H ome Premium に IIS 7.5 をインストールする方法の詳細については、次の記事を参照してください。

• Windows 7 Home Premium、Home Basic、または Home Starter への IIS 7.5 のインストール

Windows 7 のエディションの機能上の制限については、次の記事を参照してください。

• IIS 7.5 で使用できる Web サーバー (IIS) の役割サービス

2.1.3 .NET Framework の要件

Sitecore CMS 6 には、.NET Framework 3.5 サービスパック 1 または.NET Framework 4 が必要です。

使用できる .NET framework のアップデートをすべて、Sitecore の各ホストに適用する必要があります。

IIS 6 上で動作する Sitecore ホストについて、ASP.NET の設定の問題を減らすために、.NET framework を更新 する前に IIS をインストールして有効にします。

IIS 6 を実行していて、IIS をインストールする前に .NET Framework をインストールしていた場合は、トラブルシューティングの手順について次の記事を参照してください。

 Troubleshooting an ASP.NET Installation (IIS 6.0) (ASP.NET インストール (IIS 6.0) でのトラブ ルシューティング)

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



2.1.4 データベースの要件

Sitecore CMS は、次のデータベース サーバーをサポートしています。

- MS SQL Server 2008
- MS SQL Server 2008 R2
- MS SQL Server 2012
- Oracle 11g

۶Ł

Oracle データベースで Sitecore を実行するには、ライセンス ファイル内に Oracle 固有のライセンス キーが必要です (Sitecore.Oracle および Sitecore.FireDB)。

MS SQL Server を使用している場合は、MS SQL Server 2008 R2 を使用することをお勧めします。

ΧŦ

6.5 Update-3 から、Oracle 10g はサポートされなくなります。これは、2010 年7 月から Oracle が 10.2 を積極的にサポートしなくなるためです。

データベースは、Web サーバーとは別のサーバーで実行することをお勧めします。

2.1.5 単一の Sitecore が動作するためのサーバーのハードウェアの要件

次のハードウェア要件が推奨されます。

- 4 コア プロセッサー
- 4 GB の RAM

УŦ

推奨のハードウェア要件は、1 台のコンピューターでソフトウェアを実行するためのものです。異なる種類のハードウェア上での Sitecore の実行の詳細については、Sitecore パートナーまたは技術営業担当者に相談してください。



2.2 Sitecore クライアントの要件

2.2.1 ソフトウェアの要件

ブラウザー

Sitecore CMS クライアントは、ブラウザーベースのユーザー インターフェースです。Sitecore クライアントは、次のブラウザ ーで動作できます。

- Microsoft Internet Explorer 9 は、CMS 6.5 Update-2 (rev. 111123) およびそれ以降の CMS 6.5 更新プログラムによってサポートされています。
- Microsoft Internet Explorer 7 および 8
- Mozilla Firefox 3.6 以降
- Google Chrome 5 以降
- Apple Safari 5

メモ

Microsoft Internet Explorer 9 でページ エディター、プレビュー、または Sitecore デバッガーを使用するには、ブラウ ザーの互換表示モードを有効にする必要があります。

メモ

特に指定がない限り、Sitecore CMS 6.5 は上記のブラウザーについて、現在安定しているバージョンをすべてサポートします。

ブラウザーの設定方法の詳細については、『ブラウザーの設定リファレンス』を参照してください。

Silverlight

Sitecore DMS をインストールする場合は、Microsoft Silverlight 4 以降もインストールする必要があります。

2.2.2 ハードウェアの要件

- プロセッサー: Intel Pentium 4 2 GHz、またはより高速のプロセッサー。
- RAM: 最低 512 MB。1 GB を推奨。
- TCP/IP 接続: Sitecore CMS ホストへの接続に 512 Kbps 以上。
- 高度な操作には 1024 x 768 以上の画面解像度が必要。

Sitecore CMS サーバーにアクセスする Sitecore CMS クライアントには、他の追加ソフトウェアをインストールする必要 はありません。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



第3章

Sitecore のインストール プログラムの使用

この章では、インストール プログラムの実行ファイルを使用して Sitecore CMS をインストールするプロ セスについて説明します。

Sitecore のインストールプログラムは、Sitecore CMS のダウンロード ページからダウンロードできます。

この章には次のセクションがあります。

- Windows Vista/Windows 7 でのインストール前の手順
- インストール プロセス
- Sitecore のアンインストール
- トラブルシューティング



3.1 Windows Vista/Windows 7 でのインストール前の手順

Windows Vista または Windows 7 上に Sitecore をインストールするには、UAC (ユーザー アカウント制御) 設定 のセキュリティ ポリシー、[アプリケーションのインストールを検出し、昇格をプロンプトする] を有効にする必要があります。

3.1.1 UAC (ユーザーアカウント制御) 設定

Windows Vista または Windows 7 上でインストール プログラムを実行するには、UAC (ユーザー アカウント制御) 設定セキュリティ ポリシー、[アプリケーションのインストールを検出し、昇格をプロンプトする] を有効にする必要があります (この設定はデフォルトで有効です)。

使用しているコンピューターでこの設定が変更されたかどうかを調べるには、次の手順に従います。

- 1. 管理者として Vista にログインします。
- 2. WIN + R を押して、[ファイル名を指定して実行] ダイアログを開きます。
- 3. [ファイル名を指定して実行] ダイアログに「secpol.msc」と入力して、ENTER キーを押します。

UAC (ユーザー アカウント制御) により、続行するための権限が要求されます。



- 4. [続行] をクリックして、[ローカル セキュリティ ポリシー] ウィンドウを開きます。
- 5. 左側のペインにある [ローカル ポリシー] ノードを展開して、[セキュリティ オプション] をクリックします。
- 6. 右側のペインで、ポリシーリストの下方向にスクロールします。



7. [ユーザー アカウント制御: アプリケーションのインストールを検出し、昇格をプロンプトする] ポリシーが [有効] に なっていることを確認します。

	オリシー ニネットワーク セキュリティ: 広告のバスワード変更続に LAN Manager のバッシュ… ミネットワーク セキュリティ: 広告のバスワード変更続に LAN Manager のバッシュ… ミューザーアカウント制織: UACcess アプリケーションで、セキュリティで得護さ… ニューザーアカウント制織: アプリケーションのインストールを換出し、算機をプロ… ミューザーアカウント制続: ビルトイン Administrator アカウントのための管理者…	セキュリティの設定 有効 ネゴシエーション都名 数功 有効 数の	
 キットワーク リスト マネージャー / 公開キーのポリシー リフトセエアの範疇のポリシー アプリケーション制作パリシー アプリケーション制作パリシー 事 IP セキュリティ ポリシー (ローカル) 副 影響ポリシーの詳細な構成 	□ ユーザー アカウンド朝鮮: 安立な場所にインストールされている Ulacome アブリー □ ユーザー アカウンド朝鮮: 各ユーザーの場所へのファイルまたはレジストリの書き… □ ユーザー アカウンド朝鮮: 智徳各場モードでの智慧者に対する目隔時のブロンブ… □ ユーザー アカウンド朝鮮: 智徳各場モードでの智慧者に対する目隔時のブロンブ… □ ユーザー アカウンド朝鮮: 君族のブロンブト時にごキュリティで修練されたデスク… □ ユーザー アカウンド朝鮮: 君族のブロンブト時にごキュリティで修練されたデスク… □ ユーザー アカウンド朝鮮: 君族のブロンブト時にごキュリティで修練されたデスク… □ ユーザー アカウンド朝鮮: 君族のブロンブトのたい、プロッビーのコピーとアクセー □ 回線コンソール: すべてのドライブとフォルダーに、フロッピーのコピーとアクセー □ 回線コンソール: すべてのドライブとフォルダーに、フロッピーのコピーとアクセー □ 回線コンソール: すべてのドライブとフォルダーに、フロッピーのコピーとアクセー □ 回線コンソール: すべてのドライブとファトへのアクセスを転回する □ 雪雪: セキュリティ監督のコウを定時できない場合は安都ちにシステムをシャットダ… 町 転車: セキュリティ監督のコウを定時できない場合は安都ちにシステムをシャットダ…	戦功 戦功 戦功 編記を要求しないで昇 解助 費給信頼を要求する 開助 開助 開助 開助 開助	4
·	日 軽変: 転変ポリシー サブカテゴリの設定 (Windows Vista 以降) を勝利して、転算… 日 対応型ログオン: Ctrl + Alt + Del を必要としない	来走到 来走到	



3.2 インストール プロセス

インストール プロセスを開始するには、インストール ウィザードを開始する Sitecore 6.X.X rev.XXXXXX.exe アプ リケーションを起動する必要があります。このセクションでは、ウィザードの手順について説明します。

メモ

Sitecore CMS 設定ファイルは、ウィザードに入力される設定に応じて自動的に変更されます。

ウィザードの開始画面



ウィザードの開始画面の内容を確認し、[次へ]をクリックします。

アップグレードまたは新規インスタンス





新規インスタンスをインストールするには、[新規インスタンスを作成する] ラジオ ボタンをクリックします。 Sitecore CMS の既存のインスタンスを削除するには、[既存のインスタンスを削除する] をクリックします。このオプション は、コンピューターに Sitecore のインスタンスがすでに存在する場合にのみ有効です。

使用許諾契約書

Sitecore - インストール			×
使用許諾契約書 以下の使用許諾契約書を最後まで必	ずお読みください。		Ø
サイトコア ライセンス契約書			•
ライセンス被許諾者(以下、「お 「サイトコア」)のソフトウェア の条項、免責事項、制限事項に同	客様」)が、ライセ を使用することによ 意されたものとしま	ンス許諾者(以 り、お客様は本語 す。	下、
 ライセンスの許諾:サイトコア 法律に準拠しながら、「関連ドキ: で、サイトコアのソフトウェアをご 約書の条項に従ってお客様目身の チャの管理のためにのみ使用する) 	はお客様に、お客様 ュメント」に記載さ オブジェクトコード 見行および将来のWi ための非独占的、永	が適用されるす れているサポー の状態で無期限(ebインフラスト 続的、譲渡不可	べての ト形態 こ本契 ラク 能な、 ・
◎ 使用許諾契約書に同意します。			印刷
◎ 使用許諾契約書に同意しません	'e		
	< 戻る	次へ > =	ヤンセル
	< 戻る		ヤノビル

使用許諾契約書を読んで、適切なラジオボタンをクリックします。[次へ]をクリックします。

インストール モード

インストール モードを選択します。

- [完全]。このモードでは、Sitecore のデータベースと Sitecore クライアントの両方が、ローカル コンピューターに インストールされます。
- [データベースのみ]。このモードでは、Sitecore のデータベースのみがインストールされます。
- [クライアントのみ]。このモードでは、データベースを除くすべてのものがインストールされます。



3.2.1 完全 モード

このモードでは、Sitecore のデータベースと Sitecore クライアントの両方が、ローカル コンピューターにインストールされます。



[完全] チェック ボックスをオンにします。

Sitecore WebDAV 機能をインストールするには、コンピューターに WebClient サービスが必要です。存在しない場合は、次のメッセージが表示されます。

Sitecore	×
	ОК

WebDAV 機能をインストールしない場合は、このメッセージを無視してください。

[**次へ**] をクリックします。



インスタンス名

ンスタンス名 Sitecore の新しい	インスタンスに一意な名前を入力してください。
インスタンス名:	MySite
注意: この名前に および Web サイト	よりアプリケーションのインスタンスを識別します。また、IIS トの限定のホスト名となります。

この新しい Sitecore CMS のインスタンスに、一意の名前を指定します。後の手順で新しいサイトを作成する場合、この 名前は、IIS の Web サイトのホスト名としても使用されます。

ライセンス ファイル

ライセンス ファイル:	C:¥Users¥Administrator¥Desktopi	参照
EXPIRATION DATE	2014/03/11 12:00:00	
VERSION	5	
ADDRESS	Seika bldg 6F 2-7-6 Nihonbashi Kayabacho Chuo-ku Tokyo 103-0025	Ĩ
COMPANY		
COUNTRY ISO	10	

ライセンス ファイルを選択します。[次へ]をクリックします。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



データベース サーバー

データベース サーバーを選択します。

SQL サーバーを選択した場合、次の [データベース サーバー] ダイアログ ボックスが表示されます。

データベース サーバー 使用するデータベー;	ス サーバーと認証方法を選択してください。	C
データベースベンダ	- : SQL Serv	er 🗸
10 10 - 010 - 7100	#に使用するのない、情報を1カレアノガナ	
データベース サーバ (local)¥SQLEXPRE	-: 55 •	参照
データペース サーバ (local)¥SQLEXPRE ログイン ID:	-: 55 •	参照
使、データペースサーバ (local)#SQLEXPRE: ログインID: パスワード:	-: 55 •	参照

データベースのベンダーを選択します。リストからデータベース サーバーを選択するか、[参照] をクリックして、使用できるデ ータベース サーバーの全リストを表示します。ログイン ID (SQL サーバーのユーザー名)、および対応するパスワードを入 力します。インストール プログラムはこれらの資格情報を使用して、SQL サーバーにアクセスします。

データベースの接頭辞のオプションを設定するには、[詳細設定] をクリックします。[データベース サーバーの詳細設定] ダイアログ ボックスが表示されます。



ータベースの詳細設定	0
データベース サーバーの	詳細設定を確認してください。
]テータベース サーバーへ	の接続の有効性をテストする
データベースプレフィック	52:
テータベースプレフィッ	クス: MySite
🗷 このプレフィックスを	物理ファイルの名前に追加する
接続文字列で使用する資格	情報
ログイン ID:	sa
パスワード:	
パスワード:	 OK キャンセル

この Sitecore CMS のインスタンスのデータベース接頭辞を指定し、物理ファイルの前に付けるかどうかを選択します。 ログイン ID (SQL サーバーのユーザー名)、および対応するパスワードを入力します。Sitecore のアプリケーションはこれら の資格情報を使用して、SQL サーバーにアクセスします。[**OK**] をクリックします。

[次へ]をクリックします。

Oracle を選択した場合、次の [データベース サーバー] ダイアログ ボックスが表示されます。

データベース ベンダー:	Oracle
オラクル クライアント:	OraClient11g_home1[ODP.NET 2.112.1.0]
オラクル インスタンス:	ORCL
システムパスワード:	
プレフィックス:	SC650
テーブルスペース:	Sitecore



重要

最初に、適切な表領域を作成する必要があります。このためには、次の SQL スクリプトを実行します。

createtablespacesitecoreloggingdatafile 'sitecore.dbf' size 200M reuseautoextend on next 100Mextent management local segment space management auto;

Oracle データベース サーバーを選択します。このダイアログ ボックスには、次のボックスがあります。

- [オラクル クライアント] Oracle クライアントを選択します。
- [オラクル インスタンス] Oracle インスタンスを選択します。
- [システム パスワード] Oracle インスタンスのシステム ユーザーのパスワード。
- [プレフィックス] ユーザーのスキーマ名およびパスワードに使用する接頭辞。
- [テーブルスペース] Sitecore データの表領域の名前。

[次へ] をクリックします。

インストール先フォルダー



Sitecore CMS の Web サイトのインストール先となるフォルダーを選択します。

データベース フォルダー、およびさまざまなデータ ファイル (ログ ファイル、パッケージなど)の保存先となるフォルダーを変更するには、[詳細設定] をクリックします。[インストール先フォルダー] ダイアログ ボックスが表示されます。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.





新しいインストール先フォルダーを入力して、[OK]をクリックします。

[次へ] をクリックします。

メモ

必ず、インストール先フォルダーへの書き込み許可を SQL サーバーに指定してください。

IIS の Web サイト



新しい Web サイトの名前を入力します。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



Sitecore ASP.NET MVC 統合を有効にし、Web サイト ポート、アプリケーション名、およびそのモードと .NET Fram ework のバージョンを編集するには、[詳細設定] をクリックします。

IS の詳細設定 IIS のパラメーターを設定してください	л (
Sitecore MVC 統合	
▼ Sitecore と ASP.NET MVC の統合で 必要条件: .NET 4.0、ASP.NET MV	E有効にする VC 3、アプリケーション ブールを統合モー
アプリケーション プール	
作成するアプリケーション プールの名	前 MySiteAppPool
作成するアプリケーション ブールの名 実行する .NET ランタイム	前 MySiteAppPool 4.0.30319 * - 紙合 * 3
作成するアプリケーション ブールの名i 実行する .NET ランタイム Web サイト	前 MySiteAppPool 4.0.30319 * - 統合 * 3

[OK] をクリックします。 [Sitecore と ASP.NET MVC 統合を有効にする] チェックボックスをオンにすると、 [IIS の詳細設定] ダイアログ ボックスの [Sitecore MVC 統合] フィールドに反映されます。

Veb サイト名: MySite	
Sitecore MVC 統合: アプリケーション プール名: Web サイトのボート: .NET パージョン: モード:	ON MySiteAppPool 80 4 統合
その他の設定は [詳細設定] をクリック	クしてください。 詳細設定

[次へ]をクリックします。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



Sitecore をインストールする準備ができました

tecore のインストール準備が完了	
なたが選択したオプションを確認 更る] をクリックしてください。弓 マストール] をクリックしてくださ	してください。オプションを変更する場合は 川き続き Sitecore をインストールする場合は [・ い。
オプション:	值:
インスタンス名:	MySite
ライセンス ファイル:	C:¥Users¥Administrator¥Desktop¥lice
データベース サーバー :	demo
インストール先のフォルダー:	C:¥Inetpub¥wwwroot¥MySite
データ フォルダー:	C:¥Inetpub¥wwwroot¥MySite¥Data
MDF フォルダー:	C:¥Inetpub¥wwwroot¥MySite¥Databa

選択したオプションを確認します。Sitecore CMS をインストールするには、[インストール] をクリックします。

Sitecore をインストールしています

C -
0
the child in the second

[次へ]をクリックすると、インストールの進捗を示すウィンドウが表示されます。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



完了



Sitecore インストール ウィザードが完了しました。[完了] をクリックして、ウィザードを終了します。

3.2.2 [データベースのみ] のインストール モード

このセクションでは、[データベースのみ] のインストール モードについて説明します。このモードでは、Sitecore のデータベー スのみがインストールされます。

インストール モード





データベースのみをインストールするには、[データベースのみ] チェック ボックスをオンにします。

Sitecore WebDAV 機能をインストールするには、コンピューターに WebClient サービスが必要です。存在しない場合は、次のメッセージが表示されます。

Sitecore	— × —
<u> </u>	
	ОК

WebDAV 機能をインストールしない場合は、このメッセージを無視してください。

インスタンス名

'ンスタンス名 Sitecore の新しい	インスタンスに一意な名称を入力してください。
インスタンス名:	MySite
注意:この名前に	よりアプリケーションのインスタンスを識別します。また、IIS -の説定の木スト名となります。
および Web サイト	

この新しい Sitecore CMS のインスタンスに、一意の名前を指定します。後の手順で新しいサイトを作成する場合、この 名前は、IIS の Web サイトのホスト名としても使用されます。

データベース サーバー

データベース サーバーを選択します。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



SQL サーバーを選択した場合、次の [データベース サーバー] ダイアログ ボックスが表示されます。

データベース サーバー 使用するデータベーン	スサーバーと認証方法を選択して	てください。	C
データベース ベンダ	- 6	SQL Serve	r,
	いたのアスロセインは起きった	してください	
後、データペース提供 データペース サーバ (local)¥SQLEXPRES	-: 55	• [参照
後、データペース提供 データペース サーバ (local)¥SQLEXPRES ログイン ID:	50 SS	•	参照
後、データベース課程 データベースサーバ (local)¥SQLEXPRES ログイン ID: パスワード:	- : 55	•	参照

リストからデータベース サーバーを選択するか、[参照] をクリックして、使用できるデータベース サーバーの全リストを表示します。ログイン ID (SQL サーバーのユーザー名)、および対応するパスワードを入力します。

データベースの接頭辞のオプションを設定するには、[詳細設定] をクリックします。[データベース サーバーの詳細設定] ダイアログ ボックスが表示されます。

データベースの詳細設定 データベース サーバーの詳細設定	を確認してください。
アギーカベーマ サーバーへの始終の	1#0M25-71-33
データペースプレフィックス:	TRAILED AT LEW
データベース プレフィックス ; M	lySite
▼ このプレフィックスを物理ファ	イルの名前に追加する
	<u> </u>

この Sitecore CMS のインスタンスのデータベース接頭辞を指定し、物理ファイルの前に付けるかどうかを選択します。[OK] をクリックします。



[次へ] をクリックします。

Oracle を選択した場合、次の [データベース サーバー] ダイアログ ボックスが表示されます。

データベース ベンダー:	Oracle
オラクル クライアント:	OraClient11g_home1[ODP.NET 2.112.1.0]
オラクルインスタンス:	ORCL
システム パスワード:	•••••
プレフィックス:	SC650
テーブルスペース:	Sitecore

重要

最初に、適切な表領域を作成する必要があります。このためには、次の SQL スクリプトを実行します。

createtablespacesitecoreloggingdatafile 'sitecore.dbf' size 200M reuseautoextend on next 100Mextent management local segment space management auto;

Oracle データベース サーバーを選択します。このダイアログ ボックスには、次のボックスがあります。

- [オラクル クライアント] Oracle クライアントを選択します。
- [オラクル インスタンス] Oracle インスタンスを選択します。
- [システム パスワード] Oracle インスタンスのシステム ユーザーのパスワード。
- [プレフィックス] ユーザーのスキーマ名およびパスワードに使用する接頭辞。
- [テーブルスペース] Sitecore データの表領域の名前。

[**次へ**] をクリックします。



インストール先フォルダー



データベースのインストール先となる場所を選択します。

データベース フォルダー、およびさまざまなデータベース ファイルの保存先となるフォルダーを変更するには、[詳細設定] をク リックします。[インストール先フォルダー] ダイアログ ボックスが表示されます。



インストール先フォルダーを入力して、[OK]をクリックします。

[**次へ**] をクリックします。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



Sitecore をインストールする準備ができました

ちなたが選択したオプションを確 戻る] をクリックしてください。	応してください。オプションを変更する場合は 引き続き Sitecore をインストールする場合は [イ	
ンストール」をクリックしてくた オプション:	ēus. 值:	
インスタンス名:	MySite	
データベース サーバー:	demo	
テータベース フォルダー:	C:¥Inetpub¥wwwroot¥MySite¥Database	
MDF フォルター:	C:¥Inetpub¥wwwroot¥MySite¥Database¥	
LDF フォルダー:	C:¥Inetpub¥wwwroot¥MySite¥Database¥	
•	H	

選択したオプションを確認します。Sitecore CMS をインストールするには、[インストール] をクリックします。

Sitecore をインストールしています

	0
J.	
き更新しています。	
-	
The second second	(m) [[[[]]]
展る(目) 次へ	(10) キャンセル
	す。 林芝更新しています。

[次へ]をクリックすると、インストールの進捗を示すウィンドウが表示されます。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



完了



Sitecore インストール ウィザードが完了しました。[**完了**] をクリックして、ウィザードを終了します。

3.2.3 [クライアントのみ] のインストール モード

このセクションでは、[クライアントのみ] のインストール モードについて説明します。このモードでは、データベースを除くすべて のものがインストールされます。

インストール モード





[クライアントのみ] チェック ボックスをオンにします。[次へ] をクリックします。

Sitecore WebDAV 機能をインストールするには、コンピューターに WebClient サービスが必要です。存在しない場合は、次のメッセージが表示されます。

Sitecore	—
🗼 Web Client サービスが有効ではありません。	
	ОК

WebDAV 機能をインストールしない場合は、このメッセージを無視してください。

[次へ]をクリックします。

インスタンス名



この新しい Sitecore CMS のインスタンスに、一意の名前を指定します。後の手順で新しいサイトを作成する場合、この 名前は、IIS の Web サイトのホスト名としても使用されます。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



ライセンス ファイル

ライセンス ファイル:	C:¥Users¥Administrator¥Desktop1	参照
EXPIRATION DATE	2014/03/11 12:00:00	
VERSION	5	
ADDRESS	Seika bldg 6F 2-7-6 Nihonbashi Kayabacho Chuo-ku Tokyo 103-0025	
COMPANY		
COUNTRY ISO	10	-

ライセンス ファイルを選択します。[次へ]をクリックします。

データベース サーバー

データベース サーバーを選択します。

SQL サーバーを選択した場合、次の [データベース サーバー] ダイアログ ボックスが表示されます。

データベース サーバー 使用するデータベーン	スサーバーと認証方法を選択して	こください。	C	
データペース ベンダー: SQL Se		SQL Serve	rver	
後、データベース提問	制に使用するログイン情報を入力	してください	h _a	
データペース サーバ (local)¥SQLEXPRES ログイン ID :	- : 55	• (参照	
データペース サーバ (local)¥SQLEXPRES ログイン ID : パスワード :	- : SS	- (参照	



データベースのベンダーを選択します。リストからデータベース サーバーを選択するか、[参照] をクリックして、使用できるデ ータベース サーバーの全リストを表示します。ログイン ID (SQL サーバーのユーザー名)、および対応するパスワードを入 力します。インストール プログラムはこれらの資格情報を使用して、SQL サーバーにアクセスします。

データベースの接頭辞のオプションを設定するには、[詳細設定] をクリックします。[データベース サーバーの詳細設定] ダイアログ ボックスが表示されます。



この Sitecore CMS のインスタンスのデータベース接頭辞を指定し、物理ファイルの前に付けるかどうかを選択します。[O K] をクリックします。

[**次へ**] をクリックします。



Oracle を選択した場合、次の [データベース サーバー] ダイアログ ボックスが表示されます。

データベース ベンダー:	Oracle	•
オラクル クライアント:	OraClient11g_home1[ODP.NET 2.112.1.0	
オラクル インスタンス:	ORCL	,
システム バスワード:		_
プレフィックス:	SC650	
テーブルスペース:	Sitecore	_

Oracle データベース サーバーを選択します。このダイアログ ボックスには、次のボックスがあります。

- [オラクル クライアント] Oracle クライアントを選択します。
- [オラクル インスタンス] Oracle インスタンスを選択します。
- [システム パスワード] Oracle インスタンスのシステム ユーザーのパスワード。
- [プレフィックス] ユーザーのスキーマ名およびパスワードに使用する接頭辞。
- [テーブルスペース] Sitecore データの表領域の名前。

[次へ] をクリックします。


インストール先フォルダー

(ンストール先のフォルダー		0
Sitecore のインストール場所を ルしたい場合は [変更] をクリ	E選択してください。別の場 ックしてください。	所にインストー
Sitecore のインストール場所:		
C:¥Inetpub¥wwwrod	ot¥MySite	変更
その他の設定は【詳細設定】を	クリックしてください。	详相投定。
その他の設定は [詳細設定] をく	クリックしてください。	詳細設定
その他の設定は【詳細設定】を	クリックしてください。	詳細設定。 > キャンヤル

Sitecore のインストール先となる場所を選択します。

データベース フォルダー、およびさまざまなデータベース ファイルの保存先となるフォルダーを変更するには、[詳細設定] をク リックします。[インストール先フォルダー] ダイアログ ボックスが表示されます。



インストール先フォルダーを入力して、[OK]をクリックします。

[**次へ**] をクリックします。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



IIS の Web サイト

新しく作成するW	Yeb サイトの情報を入	カしてください。	Q
Web サイト名:	MySite		
その他の設定は []	洋細設定] をクリックし	してください。	詳細設定

新しい Web サイトの名前を入力します。

Sitecore ASP.NET MVC 統合を有効にし、Web サイト ポート、アプリケーション名、およびモードと .NET Framewo rk バージョンを編集するには、[詳細設定] をクリックします。

IS の詳細設定 IIS のパラッ	! ィーターを設定してください。	()
Sitecore MVC	: 統合	
☑ Sitecore 必要条件	と ASP.NET MVC の統合を考 : .NET 4.0、ASP.NET MVC	効にする 3、アプリケーション プールを統合モ
アプリケーシ	ョンプール	
作成するアフ	リケーション ブールの名前	MySiteAppPool
実行する .NI	ヨ ランタイム	4.0.30319 * ・ 紙合 *
Web サイト		

[OK] をクリックします。

[**次へ**] をクリックします。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



Sitecore をインストールする準備ができました

tecore のインストール準備が完了	
8なたが選択したオプションを確認 戻る] をクリックしてください。 号 ッストール] をクリックしてくださ	してください。オブションを変更する場合は き続き Sitecore をインストールする場合は [イ い。
オプション:	便:
インスタンス名:	MySite
ライセンス ファイル:	C:¥Users¥Administrator¥Desktop¥license
データベース サーバー:	demo
インストール先のフォルダー:	C:¥Inetpub¥wwwroot¥MySite
Web サイト名:	MySite
アプリケーション ブール名:	MySiteAppPool
4	<i>m</i> +
	< 戻る インストール キャンセル

選択したオプションを確認します。Sitecore CMS をインストールするには、[インストール] をクリックします。

Sitecore をインストールしています

Sitecore セットアップ		
Sitecore のインストール		0
Sitecore をインストールしてい	凄す。	
状態: アクションのスク!	リプト操作を生成;	
コンボーキントの登録を更新し	.ています.	
	E RO (B) [1	EN (10) (#+/201/

[次へ]をクリックすると、インストールの進捗を示すウィンドウが表示されます。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



完了



Sitecore インストール ウィザードが完了しました。[完了] をクリックして、ウィザードを終了します。



3.3 Sitecore のアンインストール

Sitecore のアンインストール プロセスを開始するには、以下のアクションのうちのいずれかを実行します。

 Windows のコントロール パネルを実行し、[プログラムと機能] ウィンドウから、対応するエントリーを見つけて [削除] をクリックします。

プログラムのアンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して (アンインストール)			(侍夜) モクリッ	クします。	
教課 * アンインストール				21.4	
Se	*i7.	1226	412	パージョン	-
Nicrosoft Web Platform Installer 4.5	Nicrosoft Corporation	2013/03/05	6.65 MR	4.0.1967	
Wicrosoft ヘルプ ビューアー 2.0 Language Pack - JPN	Microsoft Corporation	2013/03/05	1.95 MD	2.0.50727	
Mozila Firefox 20.0.1 (x85-ja)	Mozilla	2013/04/19	45.4 MB	20.0.1	
Modila Maintenance Service	Modilla	2013/04/19	330 KB	20.0.1	
Sibecore 6.6.0 rev. 130404 - NySite	Sibecore Corporation	2013/04/24	257 MB	6.6.0	
目 5507 に必要なコンポーネント	Microsoft Corporation	2013/03/05	8.14 MB	11.0.2100.60	
当 Virtual PC 統合コンパーキント	Microsoft Corporation	2011/03/04	905 KB	14.0.7600.16392	
WCF RIA Services VI.0 SP2	Nicrosoft Corporation	2013/03/15	25.2 MB	4.1.61029.0	
Web Deployment Tool	Microsoft Corporation	2011/03/04	4.55 MB	1.1.0618	
a Windows Azure Authoring Tools - October 2012 Release	Microsoft Corporation	2013/03/05	19,6 MB	1.8.31004.1351	
2 Windows Azure Emulator - October 2012 Release	Microsoft Corporation	2013/03/05		1.8.31004.1351	
Structure Libraries for JNET - October 2012	Microsoft Corporation	2013/03/05	20.4 MB	1.8	1
WinMarge 2.14.0.3	Thingamahoochie Softw	2013/03/15	11.7 MB	2.14.0.3	1
	 末以て、下べてのコントロールパネル環由、プログラムと物能 プログラムのアンインストールをたは変量 プログラムをアンインストールをたは変量 プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラム 繁化・アンインストール 第回、アンインストール 第回、1000000000000000000000000000000000000	NU - Tべてのコントロールパネル構成 - プログラムと物紙 プログラムのアンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールするには、一気からプログラムを提択して(アンインストール) 整理 - アンインストール の Nacost Web Platform Installer 4.5 の Nacost Web Platform Installer 4.5 の Nacost Avit ビューアー 2.0 Language Pack - JPN Microsoft Corporation Microsoft Corporation Stateory 5.6.9 rev. 130434 - MyState Stateory 5.6.9 re	RUL + Tべてのコントロールパキル構成 + プログラムと物紙 + 4 3 プログラムのアンインストール単たは変更 プログラムをアンインストール単たは変更 プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを観光して【アンインストール】【変更】 または 繁確 + アンインストール ● Naroseft Web Planform Installer 4.5 ● Naroseft Web Planform Installer 4.5 ● Naroseft Carporation 2011,90,005 ● Naroseft Rindha 20.0, (065 gs) ● Naroseft Carporation 2011,90,005 ● Vistoria Planstrainso Service ■ Naroseft Carporation 2011,90,006 ● Vistoria Planstrainso Service ● Vistoria Planstr	RUL・Tペモのロントロールパキル構成・プログラムと物価 ・ 4 プログラムと物価 プログラムのアンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールまちには、一覧からプログラムを撮化して【アンインストール】【変更】、または【模型】をクリッ・ 第 オログラムをアンインストールまたは変更 ペロックシーン 繁健・アンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを撮化して【アンインストール】【変更】、または【模型】をクリッ・ 第 第 繁健 ・ アンインストール 第 第 第 第 第 第 第 ● Naceselt Web Planform Installer 4.5 Microsoft Corporation 2013/02/05 2013/02/05 6.451 MB ● Naceselt Web Planform Installer 4.5 Microsoft Corporation 2013/02/05 2013/02/05 6.451 MB ● Naceselt Web Planform Installer 4.5 Microsoft Corporation 2013/02/05 2013/02/05 6.451 MB ● Maceselt Fireflax 23.01.065(p) Microsoft Corporation 2013/02/05 2013/02/05 8.41 MB ● Statecore 8.6.51 msv: 130404 - MyStat Statecore Corporation 2013/02/05 2013/02/05 8.14 MB ● Virbust Fireflax 23.01 msvirse Microsoft Corporation 2013/02/05 2013/02/05 23.14 MB ● Web Deployment Tool Microsoft Corporation 2013/02/05 2013/02/05 23.14 MB ● Windows Axure Autoring Tool + October 2012 Release @ Windows Axure Autoring Tool + October 2012 Release @ Windows A	NU - TATEDコントロールパネル構成 - プログラムと物能 + 4 分 プログラムと物的の体部 プログラムのアンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールまたは変更 プログラムをアンインストールするには、一覧からプログラムを選択して(アンインストール)、[変更]、または (接座) をクリックします。 整定 - アンインストール 単位 - ジェンクシストール 単位 - ジェンク 単位 - ジェンク ・ ブンクシストール 単位 - ジェンク ・ ブンクシストール 単位 - ジェンク ・ ブンクシストール 単位 - ジェンク 単位 - ジェンク 単位 - ジェンク 単位 - ジェンク ・ ブンクシストール ・ 100000 ・ ジェンク ・ ブンクシストール ・ 100000 ・ ジェンク ・ ジェンク

• Sitecore 6.X.X rev.XXXXXX.exe アプリケーションを起動し、[Sitecore Instance の追加と削除] ステップで、[既存のインスタンス] チェック ボックスをオンにします。

itecore - 新規の 5 ますか 7	インスタンスの造成または新教 itecore インスタンスを作成もしくは既存のインスタンスを削除し
1	◎ 新しいインスタンスを作成する
1 age	新規の Sitecore インスタンスを作成します。
-	● 歴存のインスタンスを東除する
*	展存の Sitecore インスタンスを剤除します。別のインスタンスをイ ンストールする場合は、インストール ウィザードをもう一意実行し てください。
	Sitecore インスタンス:
	MySite .

Sitecore のアンインストールが終わったら、SQL Server および IIS サービスを適切に再起動します。



3.4 トラブルシューティング

インストール プログラムでエラーが発生した場合

インストール プログラムが正常に動作しない場合、ログ ファイルをアーカイブして、サポート要求に添付します。

I[**Sitecore をインストールする準備ができました**] ダイアログ ボックスの [インストール] をクリックした後にインストール プログラムが失敗した場合、ログ ファイルが%TEMP%¥SitecoreInstaller.log に自動的に作成されます。

メモ

ログ ファイルは、インストールのたびに作成されます。このため、インストールに失敗した直後に、ログ ファイルをコピーする必要があります。コピーしない場合、ログ ファイルが上書きされます。

SQL Server 使用中の「Database '...' cannot be upgraded」エラー メッセージ

SQL Server を使用するとインストーラーが「Database '...' cannot be upgraded」というエラー メッセージを返す場 合は、SQL Server アプリケーションを実行するように設定されたユーザー アカウントが Web サイト ルート フォルダーに対 して完全なアクセス権限を持つ必要があります。通常、SQL Server アプリケーションは、NETWORK SERVICE アカウ ントのコンテキストで動作します。



第4章

.ZIP ファイルからのインストール

この章では、Web サイトのルートにある ZIP アーカイブを使用して Sitecore をインストールする方法 について説明します。ZIP アーカイブは、次のページからダウンロードできます。

http://sdn.sitecore.net/Resources/Sitecore%206.aspx

この章には次のセクションがあります。

- インストール プロセスの概要
- フォルダーおよびレジストリのアクセス許可の設定
- IIS の設定
- Microsoft SQL Server の設定
- Oracle データベースのストレージの設定
- Sitecore のアンインストール (ZIP からインストールした場合)



4.1 インストール プロセスの概要

このセクションでは、Sitecore CMS サイトのルートにある ZIP アーカイブから Sitecore をインストールする方法について 説明します。

Sitecore CMS の ZIP アーカイブは、次のページからダウンロードできます。

http://sdn.sitecore.net/Resources/Sitecore%206.aspx

Sitecore のインスタンスをインストールするには、次の手順に従います。

- 1. Microsoft .NET Framework V3.5 または 4 をインストールしてください。
- 2. プロジェクトの親ディレクトリのパスを選択します (例: C:¥InetPub¥ProjectName.)。
- 3. .zip アーカイブを展開して、次のフォルダーを作成します。

C:¥InetPub¥ProjectName¥Website C:¥InetPub\ProjectName\Data C:\InetPub\ProjectName\Databases

- 4. 許可を設定します (セクション 4.2、「フォルダーおよびレジストリのアクセス許可の設定」を参照)。
- 5. 適切な license.xml ファイルを、/Data フォルダーに配置します。/Data フォルダーの場所は、web.config フ ァイルの次の設定により決まります。

<sc.variable name="dataFolder" value="/data"/ >

この設定を、フォルダーの絶対パスに変更する必要があります (例: C: \InetPub\ProjectName\Data)。

- 6. SQL Server を実行する場合は、/Databases フォルダーにある SQL データベースを SQL Server に接続 します。
- 7. SQL Server を実行する場合は、/Website/App_Config/フォルダーにある ConnectionStrings.config ファイル を編集します。各データベースの行に適切な値を入力します。以下に例を示します。

<add name="core" connectionString="user id=_sql_server_user_;password=_user_pa ssword_;Data Source=_sqlserver_;Database=_core_database_name_" />

- 8. IIS で、Web サイトを設定します (セクション 4.3、「IIS の設定」を参照)。
- 9. Internet Explorer ブラウザーを設定します (『Internet Explorer 設定リファレンス』を参照)。
- 10. ブラウザーを開始し、次のアドレスをアドレス バーに入力します。

http://ProjectName/sitecore

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



Sitecore のログイン画面が表示されます。

サイトコ	ア Web プラットフォーム	5-112-230 NFE - Ideoxee Japan (Tuning) 5-112-23 ID-22100402140512 54ecres/NET 6-6 (nov. 100214)
	ーザーモニ Admin	
А	00-F69775	
	E942	
	430-FREEATEN 430-FREE	Browser Notes
	8.5m	Valcame to Sitecare OFS 6.6. You are revenue Ditarted Explorer 9.
1-#- 439-7243		Stecore supports this braveer.
# 7,2792	10100 T110-	
1-17- (7/9-74 CSS 218)		
77301	171-02-001128	
7	介コアのホームページにアクセスする	

Admin ユーザーのデフォルトのパスワードは「b」です。

1



4.2 フォルダーおよびレジストリのアクセス許可の設定

このセクションでは、Sitecore CMS が正常に動作するために必要な NTFS のフォルダーやファイルのアクセス許可、および Windows レジストリのアクセス許可について説明します。NTFS のアクセス許可やレジストリのアクセス許可を編集する方法に関する具体的なアドバイスについては、**セクション7.1、「サーバーの設定」**、MSDN の Web サイト、および Windows のヘルプ アプリケーションを参照してください。

4.2.1 匿名要求を実行するためのファイル システムのアクセス許可

ブラウザーの特定の種類の要求 (通常は、ディレクトリの参照や静的リソースの要求) は、匿名のインターネット ユーザー アカウントのアクセス許可を使用して実行されます。このアカウントには、/Website フォルダーにあるすべてのファイル、フォル ダー、およびサブフォルダーへの "読み取り" 許可が必要です。

次の表に、IIS の異なるバージョンで使用されるこのアカウントのデフォルト名を示します。

IIS のバージョン	デフォルトの匿名インターネット ユーザー アカウント名
5、6	IUSR_*、アスタリスクはコンピューター名を表す。
7、7.5	IUSR

匿名要求の処理にデフォルトの IUSR アカウントを使用しないように IIS を設定した場合、または Web サイトについて 匿名の認証を有効にしない場合、前述のアクセスを対応するアカウントに許可する必要があります。

4.2.2 ASP.NET の要求を実行するためのファイル システムのアクセス許可

ASP.NET のリソースに対する要求、およびアプリケーション内で動作するすべての .NET コードは、Web サイトのアプリケ ーション プールの ID として設定されたアカウントのアクセス許可を使用して実行されます。このアカウントには、/Website フォルダーおよび /Data フォルダーにあるすべてのファイル、フォルダー、およびサブフォルダーへの "変更" 許可が必要です。

次の表に、IIS の異なるバージョンで ASP.NET の要求処理に使用されるデフォルトのアカウントを示します。

IIS のバージョン	デフォルトの ASP.NET アカウント名
5	ASPNET
6、7	NETWORK SERVICE
7.5	AppPoolIdentity

IIS 6 以降のバージョンでは、ASP.NET の要求処理に使用するユーザー アカウントを変更できます。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



ASP.NET の要求処理に別のユーザー アカウントを選択した場合、このアカウントに前述のアクセスを許可する必要があります。

メモ

アプリケーション プール ID、および特に AppPoolIdentity アカウントへのアクセスの許可については、次の記事を参照してください。http://learn.iis.net/page.aspx/624/application-pool-identities/

4.2.3 システム フォルダー用のファイル システムのアクセス許可

ASP.NET の要求処理に使用する .NET ランタイムおよび ASP.NET リソースをロードするには、Sitecore CMS アプリケ ーションをホストするワーカー プロセスが、Windows OS および .NET Framework の一部としてインストールされた複数 のシステム ファイルやフォルダー (Sitecore CMS の一部として配布されたものではない) にアクセスする必要があります。

これらのアクセス権限の多くは、IIS によりすべての ASP.NET アプリケーションに自動的に付与され、これにより、アプリケー ション プール ID アカウントが "IIS_IUSRS" セキュリティ グループ (IIS 6 では IIS_WPG) のメンバーになります。

ただし、特定の環境では、次のシステムの場所に対し、アプリケーション プール ID のアクセスを手動で許可する必要があります。

デフォルトの場所	必要なアクセス許可	אכאב
%WINDIR%¥temp¥	変更	
%WINDIR%¥Globalization¥	変更	.NET Framework がカスタム言語を 正しく登録するために必要
%PROGRAMDATA%¥Microsoft¥Crypto	変更	データの暗号化/復号化に使用する暗 号化キーの保存に必要

メモ

ASP.NET ユーザーおよび IUSR_* ユーザーのいずれかまたはその両方に、Sitecore CMS をインストールするために ¥temp フォルダーに対する変更のアクセス権が必要です。

上記の変数のデフォルト値を次の表に示します。

変数	デフォルト値
%WINDIR%	C:¥Windows
%PROGRAMDATA%	C:¥Documents and Settings¥All Users (IIS 5/6) C:¥ProgramData (IIS 7 以降)



メモ

IIS の組み込みグループおよびアカウントについては、<u>http://www.iis.net/learn/get-started/planning-for-sec</u> urity/understanding-built-in-user-and-group-accounts-in-iis を参照してください。

4.2.4 SQL Server ファイル用のファイル システムのアクセス許可

SQL Server を使用する場合、SQL サーバー アプリケーションを実行するために設定するユーザー アカウントには、MDF および LDF のデータベース ファイルを含む /Databases フォルダーへの "フル アクセス" 許可が必要です。通常、SQL サーバー アプリケーションは、NETWORK SERVICE アカウントのコンテキスト内で動作します。

4.2.5 Windows のレジストリへのアクセス許可

Sitecore CMS には、Sitecore アプリケーションのモニターとトラブルシューティングに使用できる Windows のパフォーマ ンス カウンターの読み取りと更新を行う組み込み機能があります。この機能は、Windows のレジストリ キーにアクセスす る必要があります。このアクセスを許可するには、アプリケーション プール ID を組み込みの "Performance Monitor Us ers" グループのメンバーにします。

۶Ł

必要なレジストリへのアクセスが許可されない場合、アプリケーションが Windows のパフォーマンス カウンターにアクセスし ようとすると常に「レジストリ キー "グローバル" へのアクセスが拒否されました」のエラーが Sitecore のログ ファイルに書き 込まれます。

このエラーを防ぐには、Sitecore によるパフォーマンス カウンターの更新を防止する必要があります。このためには、web.c onfig ファイルの "Counters.Enabled" 設定を "false" に設定します。

ユーザー グループへのアカウントの追加

Windows アカウントをユーザー グループに追加するには、net localgroup コマンドを使用します。

たとえば、"NETWORK SERVICE" アカウントを "Performance Monitor Users" グループに追加するには、Siteco re CMS Web アプリケーションをホストするサーバーで、次のコマンドを実行します。

netlocalgroup "Performance Monitor Users" /add "NETWORK SERVICE"

変更内容を有効にするには、IIS をリセットする必要があります。

net localgroup コマンドの詳細については、<u>http://www.microsoft.com/resources/documentation/</u>windows/xp/all/proddocs/en-us/net_localgroup.mspx を参照してください。



4.3 IIS の設定

以降のセクションでは、Sitecore CMS 用に、異なるバージョンの IIS (バージョン 5、6、7、および 7.5) を設定する方 法を説明します。

次のリストに、どのオペレーティング システムがどの IIS のバージョンを使用するかを示します。

- IIS 5 Windows XP
- IIS 6 Windows Server 2003
- IIS 7 Windows Server 2008, Windows Vista
- IIS 7.5 Windows Server 2008 R2、Windows 7

4.3.1 IIS 7

このセクションでは、IIS 7 および 7.5 の手順を説明します。

アプリケーション プールの作成

このセクションでは、IIS7 または IIS7.5 (Windows 7、Windows Server 2008) に Sitecore のアプリケーション プールを作成する方法を説明します。

アプリケーション プールを作成するには、次の手順に従います。

- 1. **IIS マネージャー**を開始します。
- 2. [接続] パネルの [アプリケーション プール] をクリックします。
- 3. [アプリケーション プール] を右クリックし、[アプリケーション プールの追加] をクリックします。





4. 表示されたダイアログに、次の値を入力します。

名前: ProjectNameAppPool

.NET Framework バージョン:2.0.XXXXX または 4.0 XXXXX

マネージ パイプライン モード: 統合.

[**OK**] をクリックします。

アプリケーション プールの追加 🛛 💽 💌
名前(№):
ProjectNameAppPool
.Net Framework バージョン(<u>F</u>):
.NET Framework v4.0.30319 🔹
マネージ パイプライン モード(<u>M</u>): 統合
▼ アプリケーション プールを直ちに開始する(S)
OK キャンセル

5. 作成したアプリケーション プールをクリックします。



6. [操作] パネルの [詳細設定] をクリックします。

and the second second	CONTRACTOR DATE OF CONTRACTOR OF	-					
2944(E) (\$80(2) (467)	ED.						-
	🌒 アプリク	r=\$3	ョンプール	L.			## 7797-5877-508
■ DEHC (DEHCMANNEDSON) - 22 アズソスーション スール + ※ ライト	このページでは、アプリケーション ゲールの一発を見学れよび整理することができます。アプリケーション ゲールは ワーカー プロセスに整通付けられ、エロ以上のアプリケーションを含み、異なるアプリケーションを分開させます。						7709-5457-60 59085
	7+20-1		· 00 MR()		F(A) グループ化	1	アプリターションプールタ
	2.81	1/10	NET Pre-	78-5161	ID	アプリターシュ	20
	2 Eliveraphics	Mtd.	V4.0	itte	NetworkService	1	
	2 9504kppPool	1416	¥4.0	No.	NetworkService	1	2 101-101
	ASPINET V4.2	1010	v4.0	統合	ApplicationPool	0	7707-5057-608
	ASPNET VAL.	Mits	¥4.0	09500	Application/solt	0	1
	Clease	1010	v2.0	09500	ApplicationPool(0	() ###E.
	DetautAppPool	8810	v3.0	ite:	ApplicationPsol	1	いサイガムの展開し
	D Projectiveme	Mite	V8.0	ite:	Application/foot	0	2462年1
							E0CS.R.
							× 111.
							アプリターションの東京
							@ AL7
							オンライントルプ
	11 Mat (ca - 10 a)	17593	2-				
							-
H#67							٩.

7. [詳細設定] ダイアログボックスで、次の項目を設定します。

[.NET Framework バージョン] を [v4.0] に設定します。

[ID] 設定を「ApplicationPoolIdentity」または「NetworkService」と呼ばれる初期登録アカウントに設定します。

[ワーカー プロセスの最大数]が "1" に設定されていることを確認します。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



[ユーザー プロファイルの読み込み] を [True] に設定します。

細設定	?
□ (全般)	×
.NET Framework バージョン	v4.0
キューの長さ	1000
マネージ パイプライン モード	Integrated =
自動開始	True
名前	ProjectNameAppPool
E CPU	
プロセッサ関係の有効化	False
プロセッサ関係マスク	4294967295
制限	0
制限間隔 (分)	5
制限動作	NoAction
🛛 プロセス モデル	
ID	ApplicationPoolIdentity
Ping の有効化	True
Ping 間隔 (秒)	30
.NET Framework パージョン [managedRuntimeVersion] アプリケ ドするように構成します。[No Manage	ーション プールが特定のバージョンの .NET Framework をロー :d Code] を選択すると、すべての ASP.NET 要求が失敗します。
	OK キャンセル

Web サイトの作成

Web サイトを設定するには、次の手順に従います。

1. IIS マネージャーを開始します。



2. [接続] パネルの [Web サイト] を展開します。



3. [サイト] を右クリックし、[Web サイトの追加] をクリックします。





4. [Web サイトの追加] ダイアログ ボックスの必須ボックスに値を入力します。以下に例を示します。

サイト名: ProjectName

アプリケーション プール: ProjectNameAppPool

物理パス: C:¥InetPub¥ProjectName¥Website

ホスト名: Projectname

[OK] をクリックします。

and the second se				in the second	
サイト名(5):		アプリターションプ	>] = 1((1)):		
ProjectName		ProjectNameAppPo	ol	禮記(匠)	
コンテンツティレ	DEU			1	
相理/(ス(2):					
C:¥Inetpub¥Pro	ojectNamei	Website			
パススルー総臣			- Georgeone		
-	-				
撥続(⊆)→	テスト設	定(后)			
バインド					
種類(I):	IP 77	ドレス(I):	术-	⊢(<u>□</u>):	
http	 未使 	用の IP アドレスすべて	➡ 80		
ホスト名(日) :					
Projectname			1		
-			12		
pt. www.comed	epropri 3c.X	cia markeung.contoso.co			
2 Web サイトを調	「ちに開始す	\$(<u>M</u>)			
			OK .	キャンセル	
				And the second s	

5. C:¥Windows¥System32¥drivers¥etc にある hosts ファイルに、次の行を追加します。

127.0.0.1 projectname

これで、ブラウザーにアドレス「http://projectname」を入力して、Web サイトにアクセスできます。

匿名ユーザーのアクセスの制限

匿名ユーザーが次のフォルダーにアクセスするのを阻止する必要があります。

- /App_Config
- /sitecore/admin
- /sitecore/debug



• /sitecore/shell/WebService

たとえば、/App_Config フォルダーへの匿名アクセスを制限するには、次の手順に従います。

- 1. IIS を開きます。
- 2. [接続] パネルでお使いの Sitecore サイトを参照し、/App_Config フォルダーをクリックします。

		80
	App_Config π—Δ	a x9X30+9-
(DEMOWABINING BOD)	フィルター:	POTANDORE
708~583/7~6	AMMET	7159-088
MyGaa		7349-088
App Browsers	ANT 90-バリ ANT コンパイル ANT 029- ペ ANT 01201 ANT 7027イ ANT (新たべん SHIT) モデメー	0 157
agent dent	6-5a> -5 & A	1.0000007
C 803		
C Brysuits	アプリケーション コンピューター セッション状態 ページ系オジョン (後紀文学校)	
Properties	68Z 2- 10-6	
atacore		
attacore modules	🚜 📟 😟 🐀 🖓 🎢 🏙 🗍	
demap .	AMP EXA HTTP ソディレク HTTP 応義へ会生 IP アドレスあよ PRIME の機論 INIL 協定 トーニー ジドムメインの制度	
🔤 spiset		
Default Web Stir		
Contraction of the	1/2/980 B E2/0	
	当年のドキュメン 天気した原オトレ 出力をやっちュー 手切用用 二部屋 都市フィルター	
	h -,2048	
	11 	
	##1977A-	

- 3. [App_Config ホーム] パネルの [認証] をダブルクリックして、このフォルダーの認証設定を構成します。
- 4. [認証]パネルで、[匿名認証]が無効になっていることを確認します。

	r • Hyane • App_com	9,		
ファイル(E) 表示(Y) ヘルプ(B	0			
接続				
<u>6</u>	soalt			
 ● DEMO (DEMOWAdministrat) ● アブリケーション ブール ● サイト ● MySite ● App_Browsers ● App_Config 	クループ化: クループ化な	U +		
	名前	状態	応答の種類	
	ASP.NET 信装	無効		
	Windows 認証	無効	HTTP 401 チャレンジ	
	ダイジェスト認証	無効	HTTP 401 チャレンジ	
b aspnet_client	フォーム認証	無効	HTTP 302 ログイン/	
s 🔚 bin	基本認証	無効	HTTP 401 チャレンジ	
p layouts	國名總証	意动		
p- Cop				
Properties				

5. セキュリティ保護する他のフォルダーについて、手順2~4を繰り返します。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



6. IIS を再起動します。

4.3.2 IIS 6

このセクションでは、IIS 6 の手順を説明します。

以下の手順を実行して、既存のサイトを設定するか、IIS に新しい Web サイトを作成します (Windows 2003 のみ)。

۶Ł

Sitecore 用に仮想ディレクトリを作成しないでください。Sitecore は仮想ディレクトリからは操作できません。

1. インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャーを開きます。

Windows 2000 または Windows XP を実行している場合は、[コントロール パネル]、[管理ツール]、[イン ターネット インフォメーション サービス] をクリックし、IIS 用の Microsoft 管理コンソールを開きます。

Windows 2003 を実行している場合は、[コントロール パネル]、[管理ツール]、[インターネット インフォメーショ ン サービス (IIS) マネージャ] をクリックし、IIS 用の Microsoft 管理コンソールを開きます。

- 2. [インターネット インフォメーション サービス] ウィンドウで、[Web サイト] を展開します。
 - 。 Windows XP: [既定の Web サイト] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
 - 。 Windows 2000 Server、Windows 2003 Server:新しい Web サイトを作成します。
- 3. [ホーム ディレクトリ] タブで、[ローカル パス] フィールドに、フォルダーを入力または移動します (例:)。
- 4. [ASP.NET] タブで、.NET Framework バージョン 2.0 または 4.0 を選択します。
- 5. [アプリケーション保護] フィールドで、[中 (プール)]を選択します。



HTTP Headers	Cus	tom Errors	A	SP.NET	Server Extensions
√eb Site 📔 ISAPH	Filters	Home Dire	ctory	Documents	Directory Securit
When connecting to	o this res	ource, the co	ntent sh	ould come from	n:
0	A dire	ctory located	on this c	omputer	
() A <u>s</u> har	e located on	another	computer	
() A redii	ection to a <u>U</u>	RL		
Lo <u>c</u> al Path:	D:\Site	core Intranet\	WebSite		Browse
 Script source acc ✓ Read ✓ Write ✓ Directory browsin 	ess		✓ Log ; ✓ Inde:	<u>v</u> isits x this resource	
Application Settings	-				
Application name:	De	fault Applicati	on		R <u>e</u> move
Starting point:	<de< td=""><td>efault Web Sit</td><td>e></td><td></td><td>Configuration</td></de<>	efault Web Sit	e>		Configuration
Execute Permissions	: Se	ripts only		*	Configuration
Application Protectio	n: Me	dium (Pooled)	~	Unload

[高 (分離プロセス)] は選択しないでください。過大なキャッシングが発生します。

6. [インターネット インフォメーション サービス] ウィンドウで、[既定の Web サイト] から、/data フォルダーを選択し、 [プロパティ] をクリックしてこのフォルダーの [プロパティ] ウィンドウを開きます。

ctory Doc	cuments Directory Security	HTTP Headers	Custom Errors ASP.NI	T
Anonymous	access and authentication	control		
6.6	Enable anonymous acces authentication methods fo	s and edit the r this resource.	E JA	
્યા		L L	E dic	
P address a	and domain name restriction	s		
8	Grant or deny access to the IP addresses or internet de	nis resource using omain names.		
			E dit	
Secure com	munications			
~0	 Require secure communic enable client certificates v 	ations and when this	Server Certificate	
and the	resource is accessed.		View Certificate	
			E dit	

7. [ディレクトリ セキュリティ] タブの [Anonymous access and authentication control] セクションで、[編集] をクリックします。[認証方法] ウィンドウが表示されます。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



Anonymo	us access
No user nam	e/password required to access this resource.
Account use	d for anonymous access:
User name:	IUSR_LTMSIN Browse
Password:	
	Allow IIS to control password
- acc	cess is restricted using NTFS access control lists
-acc Digest au Basic aut	hentication for Windows domain servers hentication for Windows domain servers
- acc Digest au Basic aut Default do	hentication (password is sent in clear text) hentication (password is sent in clear text) main:
- acc Digest au Basic aut Default do Realm:	hentication for Windows domain servers hentication for Windows domain servers hentication (password is sent in clear text) main: Select
- acc Digest au Basic auti Default do Realm:	A windows automation of the second of the second se

- 8. [認証方法] ダイアログ ボックスで、[匿名アクセス] チェック ボックスがオフになっていることを確認します。
- 9. 以下のフォルダーとファイルに対してこの手順を繰り返します。

/sitecore/admin/sitecore/debug

10. IIS を再起動します。

Windows 2003 を実行している場合:

1. [パフォーマンス] タブの適切なアプリケーション プールに対して [プロパティ] ダイアログ ボックスを開き、ワーカー プロセスの最大数が ALWAYS 1 であることを確認します。

複数プロセッサー サーバーでは、OS/IIS をインストールするときに、この値が 1 より大きく自動的に設定されることがあります。

したがって、これらのサーバーはこの設定が「1」より大きい可能性が高いので特に確認が重要です。

2. IIS を再起動します。



Web サイトの作成

Web サイトを作成するには、次の手順に従います。

- 1. インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャーを開始します。
- 2. [インターネット インフォメーション サービス] ウィンドウの [Web サイト] を展開します。
- 3. 新しい Web サイトを作成します。
- 4. 作成した Web サイトを右クリックして、[プロパティ] をクリックします。
- 5. [**ホーム ディレクトリ**] タブの [**ローカル パス**] ボックスに、WebSite フォルダーのパスを入力します (例: C:¥In etPub¥ProjectName¥WebSite)。
- 6. [アプリケーション プール] ボックスで、Sitecore 用に設定したアプリケーション プールをクリックします。



匿名ユーザーのアクセスの制限

匿名ユーザーが次のフォルダーにアクセスするのを阻止する必要があります。

- /App_Config
- /sitecore/admin
- /sitecore/debug
- /sitecore/shell/WebService

たとえば、/App_Config フォルダーへの匿名アクセスを制限するには、次の手順に従います。

- 1. IIS を開きます。
- 2. Web Sites¥Default Web Site¥App_Config フォルダーに移動します。





3. [インターネット インフォメーション サービス] ウィンドウで、App_Config フォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

when connecting to the	is resource, the content should come from: The designated directory
() A	A share located on another computer
O A	A redirection to a URL
Local Path:	pp_Config
Script source access	s 🔽 Log visits
Read	Index this resource
Directory browsing	
Application Settings	
	Default Application
Application name:	Create
Application name: Starting point:	<default site="" web=""></default>
Application name: Starting point: Execute Permissions:	<pre>current configuration</pre> Create Create Configuration
Application name: Starting point: Execute Permissions; Application Protection:	<pre>cDefault Web Site> Scripts only Medium (Pooled) Unload</pre>
Application name: Starting point: Execute Permissions: Application Protection:	<pre>cDefault Web Site> Configuration Scripts only Medium (Pooled) Unload</pre>

4. [App_Config のプロパティ] ウィンドウの [ディレクトリ セキュリティ] タブをクリックします。



Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



5. [匿名アクセスおよび認証コントロール] セクションの [編集] をクリックします。

Authenticati	on Methods 🛛 🔀
Anonymo	
No user nam	e/password required to access this resource.
Account use	u for anonymous access.
User name:	Browse
Password:	
	Allow IIS to control password
Authenticate	d access
For the follow	ving authentication methods, user name and password
are required - and	when onymous access is disabled, or
- acc	cess is restricted using NTFS access control lists
📃 Digest au	thentication for Windows domain servers
Basic aut	hentication (password is sent in clear text)
Default do	main: Select
Realm:	dk.sitecore.net Select
Integrated	d Windows authentication
	OK Cancel Help

6. [認証方法] ウィンドウの [匿名アクセス] チェック ボックスがオフになっていることを確認します。

このプロセスを他のフォルダーについて繰り返し、IIS を再起動します。

۶Ł

以前のバージョンから Sitecore 6 にアップグレードしたときに指示に従った場合、旧ファイルをすべて削除しています。ただし、アップグレード指示に従わなかった場合、rest.aspx ファイルへの匿名アクセスを阻止する必要があります。このファイルは、/sitecore フォルダーに保存されています。



4.3.3 IIS 5

このセクションでは、IIS 5 の手順を説明します。

ホーム ディレクトリの設定

Web サイトのホーム ディレクトリを設定するには、次の手順に従います。

- 1. インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャーを開始します。
- 2. [インターネット インフォメーション サービス] ウィンドウの [Web サイト] を展開します。
- 3. [既定の Web サイト] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 4. [ホーム ディレクトリ] タブの [ローカル パス] ボックスに、WebSite フォルダーのパスを入力します (例: C: ¥InetPub¥ProjectName¥WebSite)。
- 5. [ASP.NET] タブで、.NET Framework バージョン 2.0 または 4.0 を選択します。

匿名ユーザーのアクセスの制限

匿名ユーザーが次のフォルダーにアクセスするのを阻止する必要があります。

- /App_Config
- /sitecore/admin
- /sitecore/debug
- /sitecore/shell/WebService

たとえば、/App_Config フォルダーへの匿名アクセスを制限するには、次の手順に従います。

1. IIS を開きます。



2. Web Sites¥Default Web Site¥App_Config フォルダーに移動します。



3. [**インターネット インフォメーション サービス**] ウィンドウで、App_Config フォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。

rectory	Documents	Directory Security	HTTP Headers	Custom Errors	ASP.NET
When	connecting to	this resource, the c	ontent should com	ne from:	
	(The designated di	rectory		
		A share located or	n another compute	er	
	(A redirection to a	JRL		
Local P	ath	App Config			
C Seri	ot source acc		V Log vieite		
Rea	id	666	Index this res	ource	
Writ	e				
Dire	ctory browsing	3			
Applica	tion Settings				
Applica	tion name:	Default Applica	tion	Cre	ate
Starting	point:	<default s<="" td="" web=""><td>ite></td><td></td><td></td></default>	ite>		
Evecut	a Parmissions	Soriete only		Configu	ration
Execution	o r cimitationa.	Scripts only			
Applica	ition Protectio	n: Medium (Poole	d)	Unk	bad



4. [App_Config のプロパティ] ウィンドウの [ディレクトリ セキュリティ] タブをクリックします。



5. [匿名アクセスおよび認証コントロール] セクションの [編集] をクリックします。

Authenticatio	n Methods 🛛 🔀
Anonymous No user name.	s access /password required to access this resource.
Account used	for anonymous access:
User name:	IUSR_ Browse
Password:	
	Allow IIS to control password
Authenticated	access
For the followir are required w - anor - acce	ng authentication methods, user name and password hen nymous access is disabled, or ses is restricted using NTFS access control lists
Digest auth	nentication for Windows domain servers
Basic auth	entication (password is sent in clear text)
Default dom	ain: Select
Realm:	dk.sitecore.net Select
Integrated	Windows authentication
	OK Cancel Help

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



- 6. [認証方法] ウィンドウの [匿名アクセス] チェック ボックスがオフになっていることを確認します。
- 7. IIS を再起動します。

このプロセスを、他のフォルダーについて繰り返します。

メモ

以前のバージョンから Sitecore 6 にアップグレードしたときに指示に従った場合、旧ファイルをすべて削除しています。ただし、アップグレード指示に従わなかった場合、rest.aspx ファイルへの匿名アクセスを阻止する必要があります。このファイルは、/sitecore フォルダーに保存されています。



4.4 Microsoft SQL Server の設定

Microsoft SQL Server をインストールするときに、[混合モード] 認証 (Windows 認証および SQL Server 認証) をクリックします。

MS SQL をすでにインストール済みであり、セキュリティ認証モードを変更する必要がある場合は、次の記事を参照してください。

http://technet.microsoft.com/en-us/library/ms188670.aspx

メモ

また、Windows 認証を使用して SQL Server に接続することもできます。SQL Server への接続の詳細については、 http://msdn.microsoft.com/en-us/library/ff647396.aspx を参照してください。

4.4.1 SQLServer2008 に Sitecore CMS データベースのデータベース アカウン トを作成

このセクションでは、必要最低限のアクセス許可を使用して、SQL Server 2008 の下にある Sitecore データベースの データベース アカウントを作成する方法を説明します。

- 1. SQL Server Management Studio を開始します。
- 2. Sitecore のデータベースが接続していることを確認します。
- 3. SQL Server Management Studio の [オブジェクト エクスプローラー] ペインにある [セキュリティ] フォル ダーを展開します。



4. [ログイン] フォルダーを右クリックし、[新しいログイン] をクリックして新しいログインを作成します。

2-50-21P			The second
	⇒ スタリプト → 113 ヘルプ		
サーバー ロール ラ ユーザー マッピング ・ セキュリティ保護可能なリソース ・ 状態	071>-8(%) Windows 121E(%) SOL Server 121E(5)	S0juser	(秋常(E)
	127-KD	*******	
	パスワードの確認入力(の)	******	
	+1.0020-000		
	 パスワード ポリシーを適用す パスワードの実験を適用する 	18(E) 509	
		11.12-F&X.E FQUU	
	 日の日本、マラノ所の目り 日の日本、マラノ所の目り 		
	○ 非大利キー(レマラフ)含め(」)		*
10.08			* (A)XETE(A)
₩-15-: ₩-15-:	マップされた流格情報	道信情報 プロバイター	
接続 DEMC¥Administrator			
記 接続の20パティを表示しま 文			
進行状況			■項第C <u>√</u> 2
準備完了	野市のデータベー2(0):	master	•
1.2	研究の金融(の)	(現金)	-
	KAREKI BIBLER	(

- 5. [ログイン 新規作成] ウィンドウの [全般] ページをクリックし、ログイン名を指定します。
- 6. [SQL Server 認証] をオンにし、[ユーザーは次回ログイン時にパスワードを変更する] チェックボックスをオフ にします (このオプションは、一部の Windows オペレーティング システムではサポートされていない)。
- 7. [**ユーザー マッピング**] ページをクリックし、[**このログインにマップされたユーザー**] ボックスで、Sitecore データベ ースをクリックします。
- 8. [データベース ロールのメンバーシップ] ボックスで、次のチェック ボックスをオンにします。

"Master" および "Web" のデータベース: db_datareader、db_datawriter、public Analytics データベース (DMS をインストールしている場合): db_datareader、db_datawriter、public "core" データベース: db_datareader db_datawriter public aspnet_Membership_BasicAccess

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



aspnet_Membership_FullAccess

aspnet_Membership_ReportingAccess

aspnet_Profile_BasicAccess

aspnet_Profile_FullAccess

aspnet_Profile_ReportingAccess

aspnet_Roles_BasicAccess

aspnet_Roles_FullAccess

aspnet_Roles_ReportingAccess

ページの選択	「気 スクリプト マ ■ ヘルプ			
·····································	このログインにマップされたユーザー(<u>D</u>):			
🚰 セキュリティ保護可能なリソース	マップ データベース	ユーザー	既定のスキーマ	
♂ 状態	65u6Sitecore_analytics			
	65u6Sitecore_Core			
	65u6Sitecore_Master			Ξ
	65u6Sitecore_Web			
	☑ 66u4Sitecore_analytics	SC_user		
	66u4Sitecore_Core	SC_user		
	66u4Sitecore_Master	SC_user		
	66u4Sitecore_Web	SC_user		
	master			-
				P
	66u4Sitecore_Core では guest アカウン	トが有効		
変な	 66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core のデータベース ロール メ aspect Membership Basic Access 	トが有効 ンバーシップ(<u>R</u>)		
接続 サーバー:	 66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core のデータベース ロール メ aspnet_Membership_BasicAccess y aspnet_Membership_FullAccess 	トが有効 いバーシップ(<u>R</u>)		*
接続 サーバー: demo	66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core のデータベース ロール メ aspnet_Membership_BasicAccess 図 aspnet_Membership_Reporting Access aspnet_Membership_Reporting Access aspnet_Membership_Reporting Access	トが有効 ンパーシップ(<u>B</u>)		•
接続 サーバー: demo 接続 DEMMAdaministrator	66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core のデータベース ロール メ aspnet_Membership_BallAccess V aspnet_Membership_Reporting Access aspnet_Personalization_Basic Access aspnet_Personalization_FulAccess	トが有効 いパーシップ(<u>B</u>)		•
餐装 サーバー: demo 接続: DEMO¥Administrator	66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core のデータベース ロール メ aspnet_Membership_BasicAccess aspnet_Membership_ReportineAccess aspnet_Personalization_BasicAccess aspnet_Personalization_FulAccess aspnet_Personalization_FulAccess aspnet_Personalization_FulAccess	トが有効 いバーシップ(B) ess		•
養装 サーパー: demo 接続: DEMO¥Administrator 野 接続のプロパティを表示しま	66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core のデータベース ロール メ aspnet, Membership, FasicAccess aspnet, Membership, FullAccess aspnet, Membership, FullAccess aspnet, Personalization, FullAccess aspnet, Personalization, Resortine Access	トが有効 ンパーシップ(<u>B</u>) PSS		H II
套続 サーパー: demo 掛話: DEMO¥Administrator 見 <u>提続のプロパティを表示しま</u> ヹ	 66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core のデータベース ロール メ aspnet_Membership_BasicAccess aspnet_Membership_FullAccess aspnet_Personalization_BasicAccess aspnet_Personalization_BasicAccess aspnet_Personalization_PertingAccess aspnet_Personalization_ReportingAccess aspnet_Personalization_ReportingAccess aspnet_Personalization_ReportingAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_FullAccess aspnet_Profile_FullAccess aspnet_Profile_FullAccess 	トが有効 (ンパーシップ(<u>R</u>) ses		
接続 サーバー: demo BEMO¥Administrator 型 提続のプロパティを表示しま 生 生	66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core のデータベース ロール メ aspnet_Membership_BasicAccess v aspnet_Membership_FullAccess aspnet_Personalization_FallAccess aspnet_Personalization_FullAccess aspnet_Personalization_FullAccess aspnet_Porfile_BasicAccess v aspnet_Profile_FullAccess v aspnet_Profile_FullAccess v aspnet_Profile_PasicAccess v aspnet_Profile_ReportingAccess v aspnet_Profile_ReportingAccess v aspnet_Profile_ReportingAccess	トが有効 じノバーシップ(<u>R</u>) ess		
 8装 サーバー: demo 接続 DEMO¥Administrator 割: 接続のプロパティを表示しま 重 重 進行状況 準備完了 	66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core のデータベース ロール メ aspnet_Membership_BasicAccess aspnet_Membership_Reporting Access aspnet_Personalization_Reporting Access aspnet_Personalization_FullAccess aspnet_Personalization_FullAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_Reporting Access aspnet_Profile_Reporting Access aspnet_Profile_Reporting Access aspnet_Profile_Reporting Access aspnet_Profile_Reporting Access aspnet_Poles_BasicAccess aspnet_Poles_BasicAccess aspnet_Poles_Reporting Access aspnet_Poles	トが有効 じパーシップ(<u>R</u>) ess		A E
8装 サーバー: demo BEMO¥Administrator 割 接続のプロパティを表示しま 手 生 行 状況 の 準備完了	66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core のデータベース ロール メ aspnet_Membership_FullAccess aspnet_Membership_FullAccess aspnet_Personalization_BasicAccess aspnet_Personalization_FullAccess aspnet_Personalization_FullAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_ReportingAccess aspnet_Profile_ReportingAccess aspnet_Profile_ReportingAccess aspnet_Profile_ReportingAccess aspnet_Roles_FullAccess aspnet_Roles_FullAccess aspnet_Roles_ReportingAccess aspnet_Roles_ReportingAccess aspnet_Roles_FullAccess	トが有効 (ンパーシップ(<u>B</u>) 2955		A III
数 サーパー: demo 世紀O¥Administrator 副 提続のプロパティを表示しま 重 行状況 挙 備売了 単 備売了	66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core のデータベース ロール メ sopnet_Membership_BasicAccess aspnet_Membership_FullAccess aspnet_Personalization_BasicAccess aspnet_Personalization_ReportingAccess aspnet_Profile_Personalization_ReportingAccess aspnet_Profile_FullAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_ReportingAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Poles_FullAccess aspnet_Poles_BasicAccess aspnet_Poles_BasicAccess aspnet_Poles_PoleAccess aspnet_Poles_PoleAccess aspnet_PoleSexpert_FullAccess aspnet_PoleSexp	トが有効 ンパーシップ(<u>B</u>) 995		H
数表: DEMO¥Administrator	66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core のデータベース ロール メ aspnet Membership ResicAccess aspnet Membership FullAccess aspnet Personalization_FullAccess aspnet Personalization Resoration Resoration Resoration aspnet Personalization Resoration Resoration aspnet Personalization Resoration aspnet Profile_BasicAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Roles_BasicAccess aspnet_Roles_BasicAccess aspnet_Roles_ReportingAccess aspnet_Roles_ReportingAccess aspnet_WebEvent_FullAccess dh accessadmin	トが有効 ンパーシップ(<u>B</u>) 988		
接続 サーバー: demo DEMO¥Administrator 即接続のプロパティを表示しま す が 進行状況 () 準備完了	66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core では guest アカウン 66u4Sitecore_Core のデータベース ロール メ sopnet_Membership_Reporting Access aspnet_Membership_Reporting Access aspnet_Personalization_FullAccess aspnet_Personalization_Reporting Access aspnet_Personalization_Reporting Access aspnet_Personalization_Reporting Access aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Profile_BasicAccess aspnet_Roles_BasicAccess aspnet_Roles_BasicAccess aspnet_Roles_Reporting Access aspnet_Roles_Reporting Access aspnet_Roles_Reporting Access aspnet_WebEvent_FullAccess aspnet_WebEvent_FullAccess aspnet_WebEvent_FullAccess	トが有効 ンパーシップ(<u>B</u>) 2885		

9. [OK] をクリックしてユーザーを作成します。



4.4.2 保存したプロシージャへの実行権限の許可

保存したプロシージャに実行権限を許可するには、次の手順に従います。

- 1. [SQL Server Management Studio] ウィンドウの [データベース] を展開します。
- 2. [Sitecore データベース] を右クリックし、[プロパティ] をクリックします。



Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



3. [データベースのプロパティ] ウィンドウの [権限] セクションをクリックし、権限を許可するユーザーを選択します。

A 44	\$ X9171 •	ヘルプ				
 ファイル グループ ファイル グループ オブション 変更の)(服務 増換 増換 指3県プロパラィ 	サーバー名(S): サーバー格(S): サーバー権限の表示 ギーカベー7-2010	DEMO	itecore Master			
	7-#-##/10-#/	14	ineson o prisa nan		49-12	NE
	1-9-84040-74				TRANCE/-	
	-6m				1	100
						-
接	SC_user の確認(P)					
接続 サーバー: demo	SC_user (小雅課(P) 明元45 有効 権限	権限の許可者	194 DT	許可の有筆	相否	
接続 サーバー: 後続	SC_user の確認(P) 0月〒31 初加 権限 利味	推跟QUE可者 dbo	許可	許可の有業	掘石	
接続 サーバー: demo 接続 DEMCWAdministrator	SC_user の確認(P) 明元由り 有効 確認 肖像 参照	権限の許可者 dbo dbo	許可 同	許可の有業	梅香	*
接続 サーバー: demo 接続 DEMCWAdministrator 考録 接続のプロパティを表示しま	SC_user の確認(P): 明元45 有効 権限 育様 参照 実行	権限の時可者 dbo dbo	許可 日 マ	許可の有業	超る	*
接続 サーバー: demo 地域の少 <u>ロパラィを表示しま</u> 望 <u>接続のプロパラィを表示しま</u>	SC_user (J)職課(P) 0月元31 有助 11課 有課 多期 実行 果計の作品気	権限の許可者 dbo dbo dbo dbo	許可 	許可の有業	推荐	
接続 サーバー: demo 地のWAdministrator 引 接続のプロパティを表示しま 道行状況	SC_user () 職種(()) 明元45 有効 種様 育様 参照 実計の作成 所有権の取得	権限の許可者 dbo dbo dbo dbo dbo	許可 日 マ 日 日	許可の有業	推否 日 日 日 日 日 日 日	*
接続 サーバー demo 接続 DEMOWAdministrator 引 接続のプロパティを表示しま 進行状況 単備売了	SC_user () 職務(P) 明子当り 有3) 権限 利禄 参照 実計の作成 所有権の取得 証明書の作成	権限の許可者 dbo dbo dbo dbo dbo dbo	許可 	許可の有業	183 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	*
接続 サーバー: demo 持続 DEMOWAdministrator 引 接続のフロバティを表示しま 進行状況 〇 ^{準備先} 了	SC_user () 確穏(P): 明元45) 有35) 植原 育師 参照 実計の作成 系計の作成 証明書の作成 証明書の実更	権限の許可者 cbo dbo dbo dbo dbo dbo dbo dbo	許可 日 マ 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日 日	許可の有無	1825 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10 10	

4. [**ユーザーまたはロール**] ボックスでユーザーを選択し、[**明示的な権限**] ボックスの [許可] 列で、ユーザーに " 実行" 権限を許可します。

Sitecore DMS をインストールしている場合は、Analytics データベースを含む他の Sitecore CMS データベースに対してこの手順を繰り返します。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



4.5 Oracle データベースのストレージの設定

このセクションでは、Sitecore CMS 用に Oracle データベースのストレージを設定する方法を説明します。

4.5.1 Oracle のストレージの設定

このセクションでは、Oracle データベースを使用する Sitecore CMS の設定について、詳しく説明します。

データベース サーバーの準備

データベース サーバーは、Oracle 10g 以降のデータベース インスタンスである必要があります。つまり、次の要件を満たす 必要があります。

- 1. Oracle インスタンスは、共有サーバー モードに設定する必要があります。
- Oracle インスタンスは、初期段階では 200 MB 以上の空き容量を持つ Sitecore 用の表領域が必要です。 Sitecore データベースが増加するにつれて、より多くの容量が必要になります。Oracle データベース サーバー (または Oracle の管理ツールを持つワークステーション PC) で次の手順を実行して、Sitecore CMS 用の Or acle データベースを設定します。
- 3. Sitecore CMS データベース (*DB.exe 設定実行ファイル、バージョン 6.0.2 以降) をインストールします。 別の方法として、インストール済みの Sitecore 6 から /Databases/Oracle フォルダーをコピーできます。
- 4. Sitecore のデータを Oracle データベースにロードします。
 - a. コンピューターの [システムのプロパティ]、[詳細設定]、[環境変数] を順にクリックし、ユーザーレベルの変数を次のように設定します。
 DATABASE = PC 上に設定された Sitecore データをホストする Oracle データベース インスタンスの名前
 TBS = Sitecore データの表領域の名前
 PASSWORD = Oracle インスタンスのシステム ユーザー用のパスワード
 PREFIX = ユーザー スキーマの名前およびパスワードに使用する接頭辞 (デフォルト: sc)
 - b. /Databases/Oracle/ フォルダーの createdata.bat ファイルを起動します。
 - c. DATABASE、TBS、PASSWORD、PREFIXの各変数を環境から削除します。

インストール スクリプトが、%PREFIX%core、%PREFIX%master、%PREFIX%webの3つのユーザースキーマを設定します (デフォルト値はそれぞれ、sccore、scmaster、scweb)。ユーザーのパスワードは、ユーザー名と同じです。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.


Web サイト サーバーを設定する手順

次の手順は、Sitecore CMS ファイル システムがホストされる Web サーバーの設定方法を示します。

1. Oracle Database のバージョンと一致する Oracle Client をインストールします。必ず、Oracle Data Prov ider for .NET 2.0 をインストールしてください。適切な Oracle インスタンス (「データベース サーバーの準備」 セクションの説明に従って作成) への接続を追加します。このトピックの詳細については、セクション 7.1.2、「Ora cle インスタンスへの接続の追加」を参照してください。

メモ

Oracle Data Provider を 64 ビット環境にインストールする場合は、必ず Oracle Client for Windows x64 を使用してください。

- Sitecore CMS 6 をインストールします。exe 設定実行ファイルからではなく、ZIP アーカイブから Sitecore を インストールする場合、次の手順に進む前に、dataFolder 設定を行って有効なライセンスの.xml ファイルをデ ータ フォルダーに配置する必要があります。
- 3. dataFolder 変数の定義を、Web.config から Web.config.Oracle にコピーします。

例: <sc.variable name="dataFolder" value="c:¥sitecore¥data"/>

- 4. Web.config.Oracle の **runtime/assemblyBinding** セクションで、**bindingRedirect** を、システム にインストールした Oracle.DataAccess アセンブリ バージョンに設定します。
 - a. [ファイル名を指定して実行] ダイアログ ボックス (Win + R) のコマンド プロンプトで「assembly」 コマンドを実行して、グローバル アセンブリ キャッシュを開きます。
 - b. お使いの Oracle Client バージョンの Oracle.DataAccess.dll を見つけて右クリックし、[プロパ ティ] をクリックして、次のいずれかの形式の Version 値をコピーします。
 - i. 10.2.x.x (Oracle Client のバージョンが 10.2.0.2 より前のもの)。
 - ii. 2.102.x.x または 2.111.x.x (Oracle Client のバージョンが 10.2.0.2 以降)。
 - c. assemblyBinding 設定を変更します。10.2.0.100 を、お使いのアセンブリのバージョンに変更します。

5. 元の Web.config をバックアップし、Web.config.Oracle の名前を Web.config に変更します。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



- 6. /App_Config/ConnectionStringsOracle.config の接続文字列を、有効な Oracle インスタンスを指す ように変更します。
 - a. Data Source パラメーターは、Oracle Net Manager で設定したローカルの Oracle インスタン ス名を指す必要があります。
 - b. ユーザー名とパスワードを、データベース サーバーにインストールしたものと一致するように調整する必要があります。デフォルトのユーザー名/パスワードは、sccore/sccore、scmaster/scmaster、および scweb/scweb です。
- 7. 通常の Sitecore のインストールと同様に IIS を設定し、Sitecore を実行します。



4.6 Sitecore のアンインストール (ZIP からインストールした場合)

Sitecore をアンインストールする前に、IIS Web サイトを削除するか、別のディレクトリを参照するように更新するか、次のコマンドを実行して IIS を停止します。

net stop w3svc.

SQL Server のプロセスを停止します。

- SQL Server Express の場合: net stop "sql server (sqlexpress)"
- その他すべての SQL Server のエディションの場合: net stop "sql server (instancename)"

Sitecore ファイル システムを削除します。

この Sitecore のインスタンスが使用していたデータベースを、リモート サーバーまたはローカル サーバーから削除します。



第5章

制限および固有の要件

この章では、さまざまな制限および環境に固有の要件を説明します。

この章には次のセクションがあります。

- OS に固有の要件
- ワーカー プロセスの最大数
- その他



5.1 OS に固有の要件

このセクションでは、オペレーティングシステムに関する要件を説明します。

5.1.1 Windows XP

Windows XP を実行している場合、次の設定を行います。

[アプリケーション保護] ボックスから [中 (プール)] をクリックします。

HTTP Hea	iders	Custom Errors ASP.NET		SP.NET	Server Extensions	
√eb Site	ISAPI Filter:	8 Home Direc	tory	Documents	Directory Security	
When con	necting to this	resource, the con	tent sh	ould come fror	n:	
	ΘA	directory located o	n this c	omputer		
	OA.	share located on a	nother	computer		
	ΟA	redirection to a <u>U</u> R	L			
Lo <u>c</u> al Path:	D:V	Sitecore Intranet\\	VebSite	•	Browse	
Scrip <u>t</u> s	ource access		Log	visits		
✓ <u>R</u> ead Write		L	linde:	(this resource		
Director	y browsing					
Application	Settings					
Application	na <u>m</u> e:	Default Applicatio	n		Remove	
Starting poi	nt	<default site<="" td="" web=""><td>e></td><td></td><td></td></default>	e>			
					Configuration	
Execute Pe	ermissions:	Scripts only		~		
Applicatio <u>n</u>	Protection:	Medium (Pooled)		~	Unload	

Sitecore は、アプリケーション保護の 3 つの各レベルで良好に動作します。[中 (プール)] レベルは、[高 (分離プロセス)] 設定よりも性能が高く、[低] 設定よりもセキュリティが高いため、これは単なる推奨設定です。詳細については、アプリケーション保護に関する記事 (英語版) を参照してください。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



5.2 ワーカー プロセスの最大数

Sitecore は、[**ワーカー プロセスの最大数**] を 2 以上にした設定をサポートしません。この値を「1」に設定する必要があります。

マルチプロセッサ サーバーでは、OS/IIS のインストール時にこの値が自動的に 2 以上に設定されることがあります。このため、このようなサーバーではこの設定が 2 以上である可能性があるので、この設定を確認することが特に重要です。



5.3 その他

このセクションでは、分類されないその他の要件について説明します。

5.3.1 最新アップデートのインストール

Microsoft Update のサイト(http://windowsupdate.microsoft.com) で、お使いの Sitecore CMS のホスト およびクライアントのコンピューターのすべてに、該当するサービス パックとセキュリティ アップデートをすべてインストールしてくだ さい。

5.3.2 UNC 共有はサポートされない

Sitecore CMS は、UNC 共有ではなく、ローカル ドライブにインストールする必要があります。

5.3.3 Sitecore は仮想ディレクトリから動作できない

Sitecore は仮想ディレクトリから動作できないので、Sitecore の仮想ディレクトリを作成しないでください。

5.3.4 .NET Framework の更新前に IIS をインストールする

Sitecore ホストについて、ASP.NET の設定に関する問題を減らすために、.NET framework のインストールや更新 の前に IIS をインストールします。

IIS のインストール前に .NET framework のインストールや更新を行った場合は、ASP.NET のインストールのトラブル シューティング手順が記載された次の記事を参照してください。

http://www.microsoft.com/technet/prodtechnol/WindowsServer2003/Library/IIS/187d0e2c-8e 89-49ad-a89d-e26e4d76ee68.mspx?mfr=true



第6章

インストール後の手順

この章では、Sitecore CMS のインストール後に推奨される手順を説明します。

この章には次のセクションがあります。

- ASP.NET 4.0 で Sitecore を実行するために必要な Web.config の変更
- Sitecore の Windows 認証
- Windows Authentication for Sitecore

Sitecore を設定して、SQL 接続 (SQL 2008/Windows 2008(R2)) 用の Windows 認証を使用し、connectionStrings.config ファイルからユーザー名とパスワードを効率的に削除することができます。

- 1. Sitecore が動作しているアプリケーション プールを確認します。[プロパティ] を開き、対応するタブでドメイン ユー ザーに ID を設定します。
- 2. インストール ガイドの「4.4.1 SQL Server 2008 に Sitecore CMS データベースのデータベース アカウントを 作成」のセクションに従って、 [SQL Server] ボックスでドメイン ユーザーを登録し、ドメイン ユーザーに対して Sit ecore データベースのセキュリティ権限を与えます。
- 3. Sitecore をホストするマシンで、IIS_IUSRS グループにこのドメイン ユーザーを追加します。
- 4. インストール ガイドの次のセクションに従って、IIS_IUSRS グループに対する権限を調整します。
 - 。 「4.2.2 ASP.NET の要求を実行するためのファイル システムのアクセス許可」
 - 。 「4.2.3 システム フォルダー用のファイル システムのアクセス許可」
- 5. /App_Config/ConnectionStrings.config ファイルを編集し、user id およびpassword パラメーターを tr usted_connection=yes オプションで置き換えます。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



- 6. 「aspnet_regiis.exe」および -ga switch を使用し、ID を準備してサービス アカウントとして使用できるよう にします。
- 7. 次のセクションに従って、ローカルの「Performance Monitor Users」グループにドメイン サービス アカウントを 追加します。「4.2.5 Windows のレジストリへのアクセス許可」

メモ

DMS を使用する場合は、Analytics データベースに対して同じ設定を繰り返す必要があります。Analytics データベースの接続文字列は、次のようになっている必要があります。

<add name="analytics" connectionString="Data Source=<Data-Source>;Database=Sandbox6_Analytics;Trusted_Connection=Yes" />

- Microsoft SQL Server データベースのプロパティの設定
- 検索インデックスとリンク データベースの再構築
- キャッシュ設定



6.1 ASP.NET 4.0 で Sitecore を実行するために必要な Web.config の変更

Sitecore CMS には、ASP.NET 3.5 上で Sitecore が動作するように設定された web.config ファイルがあります。

ASP.NET 4.0 上で Sitecore のインスタンスを実行するには、この MSDN 記事のセクション「To manually upgrade an application's Web.config file from the .NET Framework 3.5 to the .NET Framework 4.」に記載さ れたアクションを実行してください。



6.2 コンテンツの有効期限

IIS の [期限切れの Web コンテンツ] ヘッダーを設定して、性能を向上させます。

[期限切れの Web コンテンツ] ヘッダー ([共通 HTTP 応答ヘッダーの設定] 内) により、IIS は、Web ページのコンテ ンツの有効期限後の要求に対して、要求されたWebページの新バージョンを返すかどうかを決定します。IIS は、ユーザー が設定したコンテンツの有効期限を使用して、送信前に各 Web ページにマークを付けます。Web サイトの訪問者のブラ ウザーは、有効期限切れのマークを解釈します。

[期限切れの Web コンテンツ] を [即時] 以外に設定した場合、2 回目のアクセスのロード時間を 50 ~ 70% 短縮 できます。この設定は、動的に生成されたコンテンツには影響しません。

IIS 7.x の: [期限切れの Web コンテンツ] ヘッダーを有効にするには、次の手順に従います。

- 1. IIS マネージャーを開始します。
- 2. [期限切れの Web コンテンツ] ヘッダーを有効にするサイトを表示します。
- 3. [IIS] セクションの [HTTP 応答へッダー] をダブルクリックします。





4. [操作] パネルの [共通ヘッダーの設定...] をクリックします。



- 5. [期限切れの Web コンテンツ] チェック ボックスをオンにします。
- 6. [失効までの期間] チェック ボックスをオンにして、日数をデフォルト値 (7) に設定します。

And the second					
 (1)時頃 (1)時頃 (1)時頃 	0.4848(<u>A</u>):				
7	日間				
○ 有効相応	(世界協定時刻(
2013年	4月28日		(j) *	0:00:00	(† (†

7. 設定を完了したら、[OK]をクリックします。



6.3 Windows Authentication for Sitecore

Sitecore を設定して、SQL 接続 (SQL 2008/Windows 2008(R2)) 用の Windows 認証を使用し、connecti onStrings.config ファイルからユーザー名とパスワードを効率的に削除することができます。

- 1. Sitecore が動作しているアプリケーション プールを確認します。[プロパティ] を開き、対応するタブでドメイン ユー ザーに ID を設定します。
- 2. インストール ガイドの「4.4.1 SQL Server 2008 に Sitecore CMS データベースのデータベース アカウントを 作成」のセクションに従って、[SQL Server] ボックスでドメイン ユーザーを登録し、ドメイン ユーザーに対して Sit ecore データベースのセキュリティ権限を与えます。
- 3. Sitecore をホストするマシンで、IIS_IUSRS グループにこのドメイン ユーザーを追加します。
- 4. インストール ガイドの次のセクションに従って、IIS_IUSRS グループに対する権限を調整します。
 - 「4.2.2 ASP.NET の要求を実行するためのファイル システムのアクセス許可」
 - 。 「4.2.3 システム フォルダー用のファイル システムのアクセス許可」
- 5. /App_Config/ConnectionStrings.config ファイルを編集し、user id およびpassword パラメーターを t rusted_connection=yes オプションで置き換えます。

<add name="web" connectionString="Data Source=.¥sql2008;Database=Sandbox6_Web;Trusted_Connection=Yes" /> </connectionStrings>

- 6. 「aspnet_regiis.exe」および <u>-ga switch</u> を使用し、ID を準備してサービス アカウントとして使用できるよう にします。
- 7. 次のセクションに従って、ローカルの「Performance Monitor Users」グループにドメイン サービス アカウントを 追加します。「4.2.5 Windows のレジストリへのアクセス許可」

XE

DMS を使用する場合は、Analytics データベースに対して同じ設定を繰り返す必要があります。Analytics データベースの接続文字列は、次のようになっている必要があります。

<add name="analytics" connectionString="Data Source=<Data-Source>;Database=Sandbox6_Analytics;Trusted_Connection=Yes" />



6.4 Microsoft SQL Server データベースのプロパティの設定

Microsoft SQL Server データベースのプロパティの中には、正しく設定するとパフォーマンスが向上するものがいくつかあります。

互換性レベル

互換性レベルは SQL の構文とクエリの解析に影響し、パフォーマンスには影響しません。[互換性レベル] を [S QL Server 2008(100)] の値に設定すると、多数のスクリプト/コマンドで新しい T-SQL 機能を活用できます。

自動終了

MS SQL Server がデータベースを開くときに、リソースが割り当てられ、その状態が維持されます。ロック、バッフ アー、セキュリティトークンなどのすべてにメモリが割り当てられます。これらの動作には時間が掛かります。[自動終 了] プロパティは、これらのリソースの処理方法を定義します。[自動終了] プロパティを [TRUE] または [オン] に設定すると、最後の接続の終了時にこれらのリソースの割り当てが解除されます。短い時間 (0.1 秒以下)の うちに新しい接続が確立されると、これらすべてのリソースを再度アクティブにする必要があります。[自動終了] プ ロパティを [FALSE] または [オフ] に設定すると、この動作が防止されます。

• 自動圧縮

[自動圧縮] プロパティは、呼び出されたときに多数のリソースを使用します。呼び出し中はユーザーが制御することはできません。[自動圧縮] と [自動拡張] を組み合わせた場合、継続的なデータベースの拡張と圧縮のスパイラルに陥り、貴重なリソースを他のデータベース タスクから奪うだけでなく、断片化の問題も発生する場合があります。データベースまたはファイルに対して SHRINK コマンドを実行する必要がある場合は、スクリプト、コマンド、またはスケジュール済みのメンテナンス プランから実行します。[自動圧縮] プロパティを [FALSE] または [オフ] に設定すると、この機能が無効になります。

• 復旧モデル

[単純復旧モデル] では、MS SQL Server はトランザクション ログに最小限の情報を記録します。MS SQL S erver は基本的に、トランザクション ログが 70 % に達するか、トランザクション ログのアクティブな部分が [復旧 間隔] のサーバー レベル設定に指定された時間で復旧可能なサイズを超えた場合は常に、トランザクション ログ を切り捨てます。[復旧モデル] を [単純] に設定すると、[完全] や [一括ログ] に比べてオーバーヘッドが最小 になり、これは Sitecore CMS データベースに必要なパフォーマンス要件にとって重要です。



これらのプロパティを設定するには、次の手順に従います。

- 1. MS SQL Server Management Studio を開始します。
- 2. オブジェクト エクスプローラーで、[CMS Master] データベースを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 3. [オプション] ページをクリックし、次の画像に示すようにパラメーターを設定します。

	S\$ スクリプト ▼ 15 ヘルプ				
Ξ ±8 Ξ 2ν1λ Ξ 2ν1λ Ξ 2ν1λ	10 - 11 (2) (C)	OL Latin L General CP1 CLAS			
P オブション	100000000				
😤 変更の過時	TRIBET/IVEX	1958			
格限	互換性レベル(1)	SQL Server 2018 (100)			
2 祖第70八子4	その他のオジッシン(Q) (2) 24				
	引用符で囲まれた歳別子有効	False			
	再帰トリガー有効	False			
	算術アポート有効	False			
	信報可能	False			
	数値丸の処理アポート	False			
	日付の相関関係の最適化有効	False			
	機動データベースの組み合わせ所有権	有効 False			
	日白勅				
	自動圧描	False	1		
	自動終了	False			
	統計の目動更新	Irue			
蜜繞	統計の自動作成	True			
#-15-	統計の非同期的目標更新	False			
demo	日、秋照	and the second sec	=		
10.00	POCAD#PR	NULILUSER			
授税: DEMOXAdministrator	テータベース(大胆)	NOPMAL TAUTO CLOSED			
DEMOTING	1日内112月23 (本)、第221年1月25、 りょう、 う	False			
●2 接続のプロパラィを表示しま	1000月10年月17-201-人	Faise			
I see a second second		ACAIE .			
0.44.018	C - 2 MEE	PROTAC			
E11100	状態				
○ 準備売7					

- 4. [互換性レベル] ボックスの [SQL Server 2008(100)] をクリックします。
- 5. [自動終了] プロパティを FALSE] に設定します。
- 6. [自動圧縮] プロパティを FALSE] に設定します。
- 7. [復旧モデル] ボックスで、[単純] をクリックします。
- 8. [OK] をクリックします。

この手順を、CMS Core と Web のデータベースについて繰り返します。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



6.5 検索インデックスとリンク データベースの再構築

次の手順は、Web サイトのルートにある ZIP アーカイブを使用して Sitecore をインストールした場合にのみ実行します。 core データベースの検索インデックス、およびクイック検索インデックスを再構築する必要があります。

検索インデックスを再構築するには、Sitecore のデスクトップのログインして、[コントロール パネル]、[データベース]、[検索インデックスを再構築する] を順にクリックします。使用できるデータベースをすべて選択します。

リンク データベースを再構築するには、Sitecore のデスクトップのログインして、[コントロール パネル]、[データベース]、[リ ンク データベースの再構築] を順にクリックします。使用できるデータベースをすべて選択します。



6.6 キャッシュ設定

Sitecore CMS がインストールされたら、キャッシングを最適化して、ソリューションのパフォーマンスを向上させ、サーバー負荷を軽減し、システム能力を増加させてください。

キャッシュ設定の詳細については、SDN の『キャッシュ設定ガイド』を参照してください。



第7章

付録

この章には、環境設定に役立つ補足説明があります。

この章には次のセクションがあります。

- サーバーの設定
- IIS
- Visual Studio での Web プロジェクトの作成



7.1 サーバーの設定

以降のセクションにはサーバーの設定に関するさまざまな情報と手法があります。

7.1.1 フォルダーのセキュリティ設定の更新

フォルダーのセキュリティ設定を更新するには、次の手順に従います。

- 1. Windows エクスプローラーで、フォルダーを右クリックし、[プロパティ] をクリックします。
- 2. [プロパティ] ダイアログ ボックスの [セキュリティ] タブをクリックします。
- 3. [グループ名またはユーザー名] ボックスでユーザーまたはグループを選択し、[アクセス許可] ボックスで適切なア クセスを許可します。
- 4. [セキュリティ] タブの [詳細設定] をクリックします。
- 5. [セキュリティの詳細設定] ダイアログボックスで、[子オブジェクトすべてのアクセス許可エントリを、ここに表示されているエントリで子オブジェクトに適用するもので置換する] チェック ボックスをオンにします。

[セキュリティ] タブの表示

Windows XP を Home から Professional にアップグレードした後に、[セキュリティ] タブが表示されない場合があります。この場合、次の手順に従います。

1. Windows エクスプローラーで、 [ツール] をクリックし、 [フォルダ オプション] をクリックします。



2. [フォルダ オプション] ダイアログ ボックスの [表示] タブをクリックします。

Folder Options
General View File Types Offline Files
Folder views You can apply the view (such as Details or Tiles) that you are using for this folder to all folders. Apply to All Folders Reset All Folders
Advanced settings:
 Do not show hidden files and folders Show hidden files and folders Hide extensions for known file types Hide protected operating system files (Recommended) Launch folder windows in a separate process Remember each folder's view settings Restore previous folder windows at logon Show Control Panel in My Computer Show control Panel in My Computer Show encrypted or compressed NTFS files in color Show pop-up description for folder and desktop items Use simple file sharing (Recommended)
Restore Defaults
OK Cancel Apply

3. [簡易ファイルの共有を使用する (推奨)] チェック ボックスをオフにします。

アカウントが [セキュリティ] タブに表示されない場合は、アカウントを表示する必要があります。

アカウントの表示

アカウントを [セキュリティ] タブに表示するには、次の手順に従います。

- 1. [プロパティ] ダイアログ ボックスの [セキュリティ] タブをクリックします。
- 2. [セキュリティ] タブの [追加] をクリックします。
- 3. [**ユーザー、コンピュータ、またはグループの選択**] ダイアログ ボックスの [場所を指定してください] ボックスで、 ローカル コンピューターが指定されていることを確認します。
- 4. [選択するオブジェクト名を入力してください] ボックスにアカウント名を入力し、[名前の確認] をクリックします。 または、[詳細設定]、[検索開始] を順にクリックし、追加するアカウントを選択することもできます。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



7.1.2 Oracle インスタンスへの接続の追加

Oracle Client を PC またはサーバーにインストールした後、[すべてのプログラム]、[Oracle – Home]、[コンフィグレー ションおよび移行ツール] を順にポイントし、[Net Manager] をクリックすると、Oracle Net Manager を開始できます。

	🛅 Oracle - ODACHome1	×	m Application Development	×	
	🛅 Startup	•	💼 Configuration and Migration Tools	Þ	🥳 Net Configuration Assistant
	Windows PowerShell 1.0	•	🛅 Integrated Management Tools	×	🙀 Net Manager
	🥭 Internet Explorer		i Oracle Installation Products	×	
All Programs 🕟	칠 Remote Assistance				

Net Manager のメイン ウィンドウは、アイテム ツリー (左側)と詳細ペイン (右側) で構成されます。アイテム ツリーの左 側には、接続の記述の追加や削除ができるツールバーがあります。



Oracle インスタンスへの新しい接続を追加するには、アイテム ツリーの左側にあるツールバーの [作成] ボタンをクリックします。





これにより、Net サービス名ウィザードが開始します。

/	To access an Oracle da you use a net service na service name. Enter the name you war can be any name you ch	tabase, or other service, across the network ime. This wizard will help you create a net it to use to access the database or service. It oose.
	Net Service Name:	
Cancel		< Back Next >

ウィザードの最初のページに "Net サービス名" を入力し、[次へ] をクリックします。

Net サービス名とは、Sitecore が Oracle サーバーに接続するために使用するローカル エイリアスです。Net サービス名 は、Sitecore の ConnectionStringsOracle.config に含まれる、接続文字列の "data source" 部分に指定す る必要があります。

/	To access an Oracle database, or other service, across the network you use a net service name. This wizard will help you create a net service name. Enter the name you want to use to access the database or service. I can be any name you choose.
	Net Service Name: SITECORE
Cancel	S Back Next >>



Oracle サービスに接続するためのプロトコルを選択し、[次へ] をクリックします。ローカル ネットワークでは、暗号化なしで TCP/IP プロトコルを使用するのが一般的です。

J. 📃	To communicate with the database across a network, a network protocol is used. Select the protocol used for the database you want to access.
	TCP/IP (Internet Protocol) TCP/IP with SSL (Secure Internet Protocol) Named Pipes (Microsoft Networking) IPC (Local Database)
Cancel	Seck Next >

TCP/IP プロトコルの場合、Oracle サーバーがある "ホスト名" (または IP アドレス)、および TCP の "ポート番号" を 設定します。[次へ] をクリックして次のページに進みます。

メモ: デフォルトのポート番号は、"1521" です。



Oracle のサービス名 (リモート サーバーで設定したもの) を入力し、[次へ] をクリックします。



メモ: Oracle 10g Express エディションの場合、サービス名は XE です。



パラメーターをすべて入力したら、[テスト] ページの [テスト] をクリックして、サーバーへの接続をテストできます。





サーバーがデフォルトの "scott/tiger" の資格情報を受け付けない場合は、[ログイン変更] ボタンをクリックして、Siteco re データベースのスキーマのログイン ID とパスワードを入力します。

/hen finished testing pres	as Close.
	🖆 Change Login 🛛 🔀
nitializing first test to use Attempting to connect us The test did not succeed DRA-01017: invalid user There may be an error in or the server may not be	Login Information Username: sccore Password: ••••••• OK Cancel

パラメーターをすべて正しく入力した場合、接続テストで成功が報告されます。

Connection	n Test	
Expect con please wai test press	necting to the database t; the reason for any failu Change Login.	to take from one to several seconds to complete. If it takes longer, ure will be displayed. To change the userid and password used for the
When finis	hed testing press Close	e.
Attempting The conne	to connect using userid to tion test was successfi	d: sccore ful.
ব		D
		Change Login Test Close

[テスト] ページを閉じ、[完了] をクリックして、ウィザードを終了します。Net Manager のメイン ウィンドウに、新しく作成 した接続、およびそのパラメーターが表示されます。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



7.2 IIS

このセクションでは、IIS に関して役に立つさまざまな手法を説明します。

7.2.1 IIS へのアクセス

インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャーを開始します。

Windows XP を実行している場合は、[コントロール パネル]、[管理ツール]、[Internet Information Services] を順にクリックして、IIS の Microsoft 管理コンソールを開きます。

Windows 2003 を実行している場合は、[コントロール パネル]、[管理ツール]、[インターネット インフォメーション サービス (IIS) マネージャー] を順にクリックして、IIS の Microsoft 管理コンソールを開きます。



7.3 Visual Studio での Web プロジェクトの作成

Sitecore は、Sitecore ソリューション用の Visual Studio Web アプリケーション プロジェクト モデルをサポートします。

メモ

Visual Studio 2005 の初期のリリースには、Web アプリケーション プロジェクト モデルは含まれていません。Visual Studio 2005 サービス パック 1 には、Web アプリケーション プロジェクト モデルが含まれています。Visual Studio 2005 サービス パック 1 の詳細については、http://msdn.microsoft.com/en-us/vstudio/bb265237.aspx を参照し てください。1

重要

Visual Studio ソリューションと、Visual Studio を使用する Sitecore ソリューションごとに少なくとも 1 つのプロジェクト を作成します。新しい Sitecore ソリューションごとに以下の一連の手順を実行し、必要に応じて既存のソリューションに新 しいプロジェクトを追加します。

既存の Sitecore ソリューションに対して Visual Studio Web アプリケーション プロジェクトを作成するには、次の手順を 実行します。

- 1. Visual Studio で、[**ファイル**] メニューをクリックし、[**New**] をクリックして、[**プロジェクト**] をクリックします。[新 しいプロジェクト] ダイアログ ボックスが表示されます。
- 2. [新しいプロジェクト] ダイアログ ボックスで、[プロジェクトの種類] ツリーから、[Visual C#] を展開し、[Web] をクリックします。
- 3. [新しいプロジェクト] ダイアログ ボックスで、[テンプレート] リストから、[ASP.NET Web アプリケーション] を クリックします。
- 4. [新しいプロジェクト] ダイアログ ボックスで、.NET Framework のバージョンを選択します。Sitecore CMS の インストール中に、[**IIS Web サイト**] ステップで、.NET Framework のバージョンを選択しています(2.0 ま たは 4.0)。
 - Sitecore CMS をインストールするときに .NET Framework 2.0 を選択した場合は、Visual Studio プロジェクトで [.NET Framework 3.5] を選択します。
 - Sitecore CMS をインストールするときに .NET Framework 4.0 を選択した場合は、Visual Studio プロジェクトで [.NET Framework 4] を選択します。

¹ Visual Studio 2005 サービス パック 1 の詳細については、http://msdn.microsoft.com/en-us/vstudio/bb 265237.aspx を参照してください。

Sitecore[®] は登録商標です。その他の記載されているブランドや製品名はそれぞれ各社の所有物です。この文書の内容はサイトコアの所有物です。C opyright © 2001-2013 Sitecore. All rights reserved.



- 5. [新しいプロジェクト] ダイアログ ボックスで、[名前] フィールドに、たとえば、のように、プロジェクトの名前を入力します。 Visual Studio は、この名前をデフォルトの .NET の名前空間およびアセンブリ名として使用します。
- 6. [新しいプロジェクト] ダイアログ ボックスで、[場所] フィールドに、たとえば、のように、Sitecore ソリューションのド キュメント ルートを入力します。C:¥inetpub¥sitecore¥MyWebSite¥WebSite.
- 7. [新しいプロジェクト] ダイアログ ボックスで、[**ソリューション名**] フィールドに、たとえば、のように、ソリューションの名前 (通常プロジェクトの名前)を入力します。
- 8. [ソリューションのディレクトリを作成] チェック ボックスをオンにします。
- 9. [OK] をクリックします。Visual Studio は、[場所] で指定されたディレクトリのサブディレクトリにプロジェクトを作成し、そのプロジェクトを開きます。
- 10. ソリューション エクスプローラーで、[参照設定] を右クリックし、[参照の追加] をクリックします。
- 11. [参照] タブをクリックし、ファイルを選択して、[OK] をクリックします。
- 12. ソリューション エクスプローラーで、ファイルを選択し、Copy Local プロパティを false に設定します。

Visual Studio でファイルを編集するには、それらのファイルが表示されるようにし、プロジェクトに含める必要があります。

ファイルが表示されるようにするには、次の手順を実行します。

13. ソリューション エクスプローラーで、[すべてのファイルを表示] をクリックします。



- 14. ここで、編集するファイルを含める必要があります。たとえば、XSL フォルダーを右クリックし、[プロジェクトに含める] をクリックします。
- 15. 最後に、それらのファイル自体をダブルクリックし、編集します。